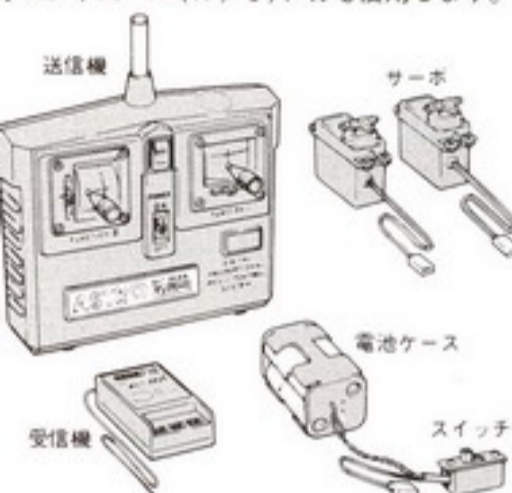


OFF-ROAD RACER Rocky 4WD

ラジオコントロールプロポとは

このラジオコントロールモデルには2チャンネル・2サーボ・デジタルプロポ方式のラジオコントロール(R/C)メカを使用します。



2チャンネルプロポは1セット購入しておけばいろいろなR/Cモデルを操縦できます。

ラジオコントロール用電波について

ラジオコントロール用に使用できる電波は、下表のように空用・地上・水上用・に区別されています。必ず車・ボートには地上・水上用、飛行機には空用の電波をご使用下さい。

ラジオコン電波使用区分

新周波数の区分と表示方法

周波数 (MHz)	旗の色	呼び方	
40.61	青/茶	61	地上・水上用
40.63	青/橙	63	
40.65	青/緑	65	
40.67	青/紫	67	
40.69	青/白	69	
40.71	紫/茶	71	
40.73	紫/橙	73	空用
40.75	紫/緑	75	
40.77	紫/紫	77	
40.79	紫/白	79	
40.81	グレー/茶	81	
40.83	グレー/橙	83	
40.85	グレー/緑	85	

従来電波区分

40.665MHz	ピンク	地上・水上用
40.695MHz	白	
1バンド	茶	地上・水上用
2	赤	
3	オレンジ	
4	黄	
5	グリーン	
6	青	

(旗の色)
61バンド
(40.61)の例



キット以外にお求めいただくもの

＜2チャンネルプロポ＞

プロポの送信機にはスティックタイプとハンドルタイプがあります。自分に合ったものをお求め下さい。



＜走行用ニカドバッテリー＞

このR/Cカーには京商7.2Vレーシングバッテリーを使います。



＜ニカドバッテリーの充電器＞

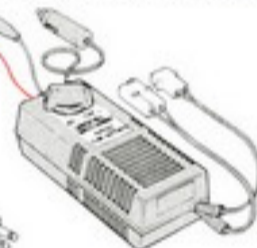
京商ニカドバッテリーは高性能で、正しく充電すれば長期間使用ができます。充電方法は家庭用100Vコンセントから行なう15時間充電器と自動車のシガーライター又は12Vバッテリーから行なう急速充電器(約15分)があります。使用目的に合った充電器を下の方より選んでお求め下さい。

品番	充電器名	充電時間	充電%	特長	価格
No.2221	スーパーニカド充電器(AC100V)	14-16時間	100%	初心者向	¥ 1,700
No.2207	スーパーニカド急速充電器(DC12V)	15分	約70%	初心者向 タイマー式	¥ 4,800
No.1846	マルチチャージャー(DC12V)	20分	100%	タイマー式 電流計付	¥ 6,800
No.1848	オートチャージャー(DC12V)	約20分	100%	デルタピーク検知式 電流計、電圧計付	¥12,800
No.2232	スーパーニカドAC急速充電器	約40分	約80%	家庭用電源から充電 電子タイマー式	¥4,900

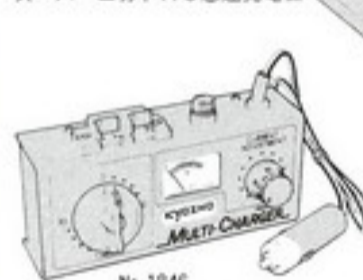
No.2221
スーパーニカド充電器



No.2207
スーパーニカド急速充電器



No.2232
スーパーニカドAC急速充電器



No.1846
マルチチャージャー



No.1848
オートチャージャー

組み立てに必要な工具と接着剤など

＜キットに入っている工具＞

1.5mm六角レンチ

グリス2g

＜用意する工具等＞

⊕ドライバー(大、中、小)

⊖ドライバー(中)

5.5mm及び7mmボックスドライバー

ハサミ

ラジオベンチ

ペンチ

ニッパー

カッター

ナイフ

キリ

＜用意する接着剤＞

瞬間接着剤

＜塗装に必要なもの＞

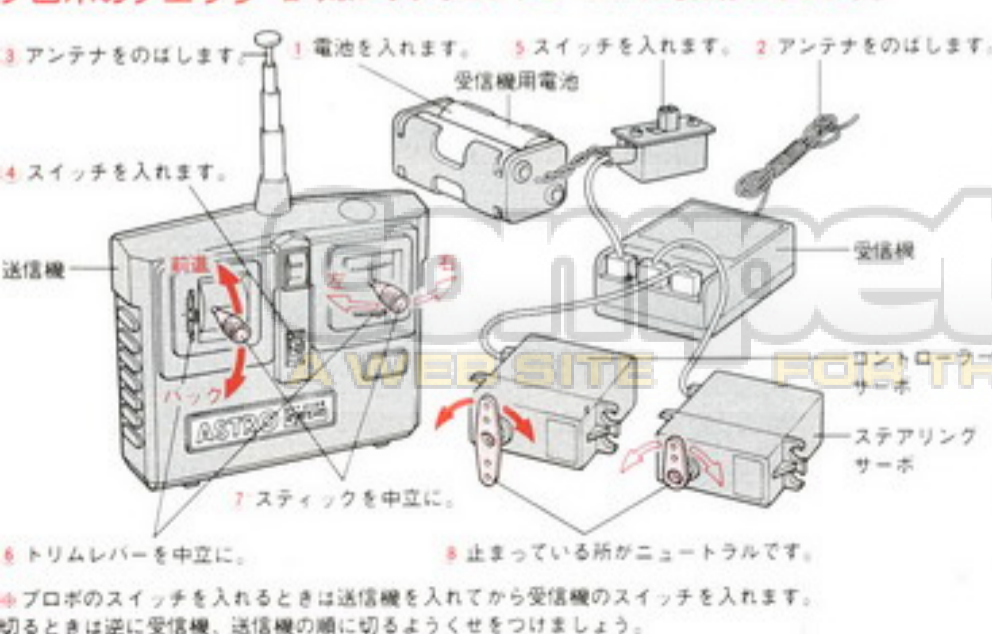
マスキング用 京商マイクロラインテープ

京商ポリカカラー及びスプレー塗料

ハケ

※塗装については取扱書の塗装の項にくわしく出ています。

プロポのチェック 番号順にラジオコントロールメカを動作してみます。



2チャンネルプロポは、送信機、受信機、サーボ、電池ボックスなどから成り立っています。

- 送信機..... 操縦するコントロールボックスでスティックの動きを電波でアンテナから発信します。
- 受信機..... 送信機からの電波を受けサーボに送ります。
- サーボ..... 受信機が受けた電波をモーター、ギヤを使い車のコントロール部を動かす装置です。
- アンテナ..... 送信機のアンテナは電波を送り出し、受信機のアンテナは電波が入る重要なものなのでいっばいにのぼし使います。
- トリムレバー..... 送信機のトリムレバーはサーボの中立(ニュートラル)をずらし、車の右、左のステアリング及びコントローラーの前進、バックの位置を微調整するレバーです。
- レベルメーター..... 送信機の電池の減り及び電波の発振状態を確認するメーターです。
- サーボホーン..... サーボと車のコントロール部をつなぐもので何種類もあり、使用目的にあった形状を使用します。

*組立てる前に説明書の最後まで良く読んで、おおよその構造を理解してから組立てに入るとスムーズに作業が進行します。

*お買求めの際、又は組立ての前に部品キットの内容を良くお確かめ下さい。なお、組立てを始められた商品の返品、交換などには応じかねます。又、万一組立て中に不足、不良部品があった場合は愛用者カードに販売店の印をもらい、「京商サービス部」まで部品名を明記の上、ご連絡下さい。

<組立てる前につきのことを良く理解して下さい>

① グリスとネジロックをつけるところ

* のマークのところにはキット内のグリスを、 のところにはネジロック剤をつけて下さい。

② 部品のさがしかた

* 部品名のあとの〔 〕は使用する部品がどの袋に入っているかを示してあります。例：フロントギヤボックス〔RO-2〕
必要な部品を一つずつ袋から取り出し、袋ごと保管して下さい。部品を一度に取り出したり、組立てが終わるまで袋をすてないで下さい。

* 小物パーツ類(ビス、ナット、ワッシャーなど)については別紙の「小物パーツ一覧表」に原寸図で示してあります。組立番号ごとにサイズや形の合った部品を使って下さい。

③ タッピングビス(以下、TPビスと略します。)をねじこむ時の注意

* 本車はプラスチック部品を多く採用し、この取付けにTPビスも多く使用しています。

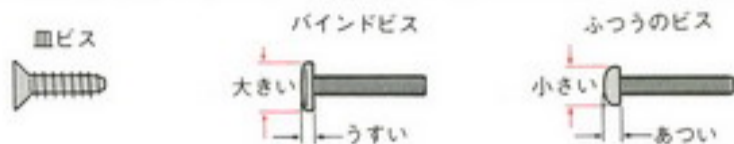
* TPビスは必要以上にしめつけるとネジがきかなくなります。ネジ部がプラスチック部品の中にかくれ、しめつけがきつくなった所でしめつけをやめて下さい。それ以上しめつけるとプラスチック部品のネジ部がこわれ、ビスがきかなくなります。

④ 使用しているビスの形のちがいとサイズについて

* ビスの先とネジ山のちがいでTPビスとふつうのビスに分けられます。



* ビスの頭の形で皿ビス、バンドビス、ふつうのビスに分けられます。



1 オイルダンパーのくみだて

* オイルダンパー3本は仮組の状態です。分解してピストンを組立てオイルを注入します。
* 黒いスプリングがリヤ用、銀色がフロント用スプリングです。

<分解のしかた> * ①~④の順に分解します。



<バルブのとりつけ>

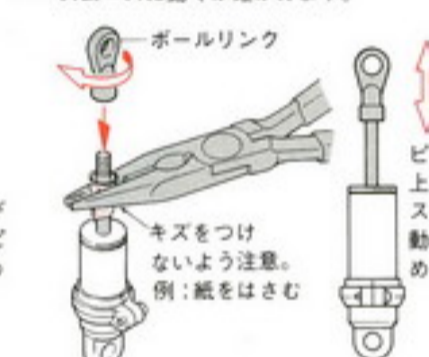
* バルブはフロント用、リヤ用の2種類があります。別紙の「小物パーツ一覧表」を見て下さい。フロント用1本、リヤ用2本くみだてます。



<オイルの注入> * フロントとリアを間違えないように注意して組むこと。



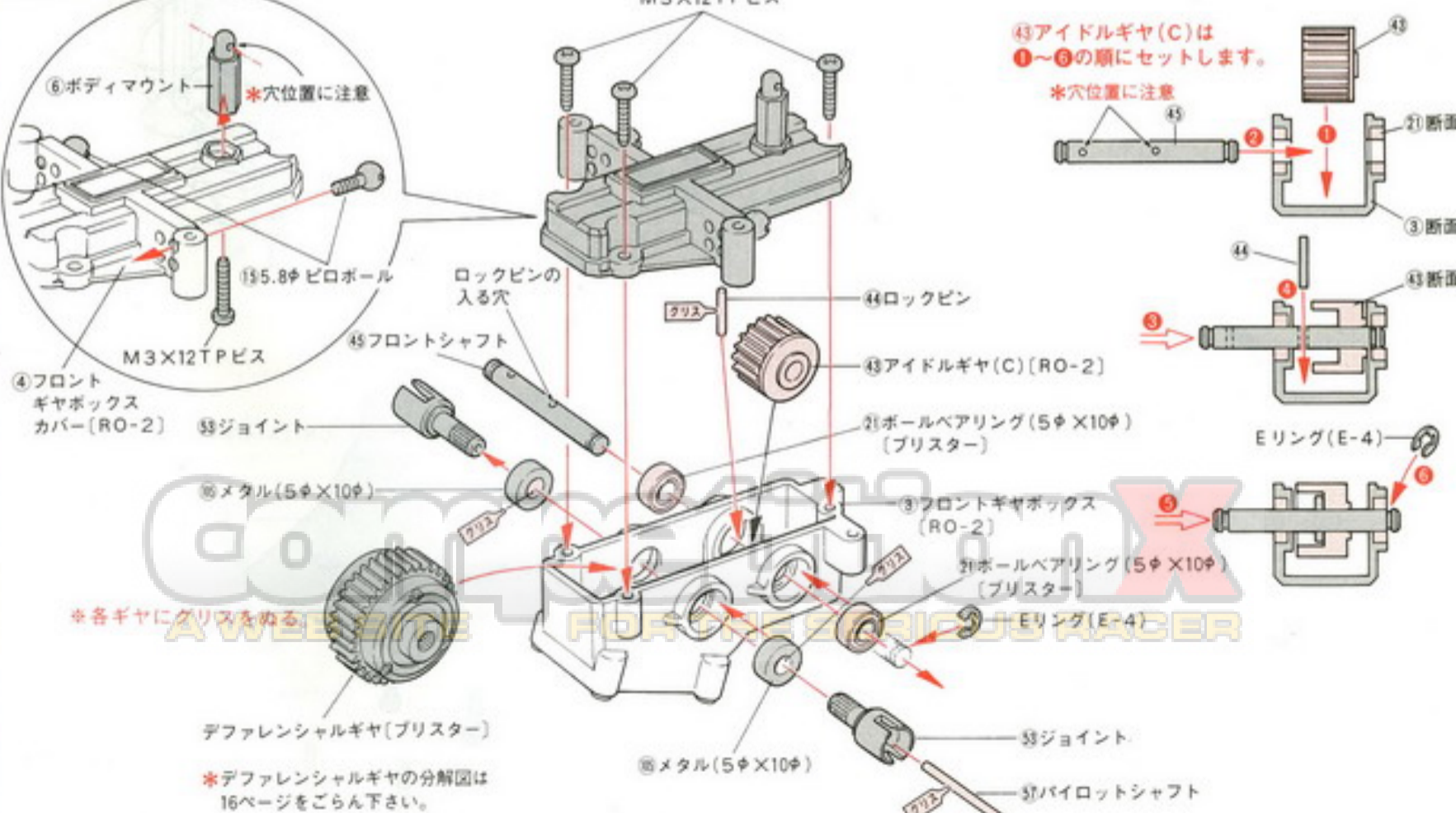
3. ボールリンクをねじこみ、ピストンがスムーズに動くか確かめます。



4. スプリング、スプリング受けを元通りくみこみます。

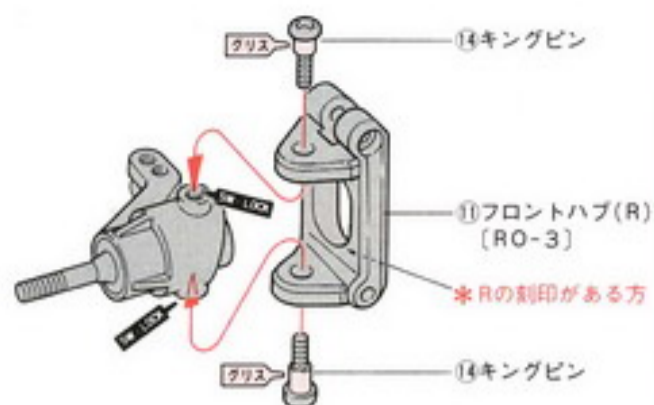
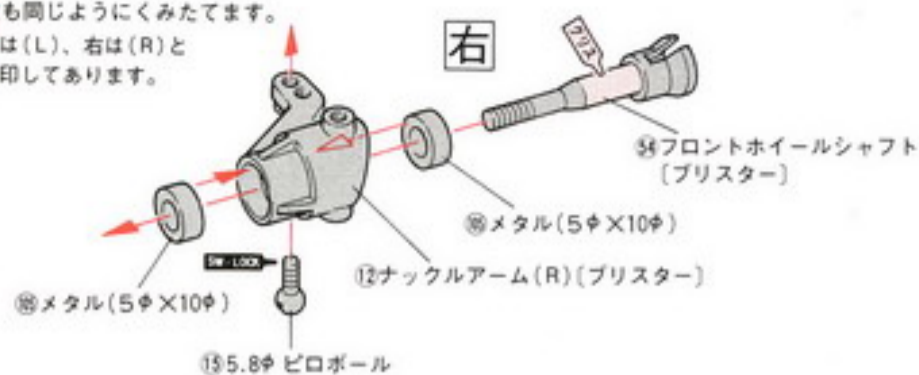


2 フロントギヤボックスのくみだて



3 フロントサスのくみだて(1)

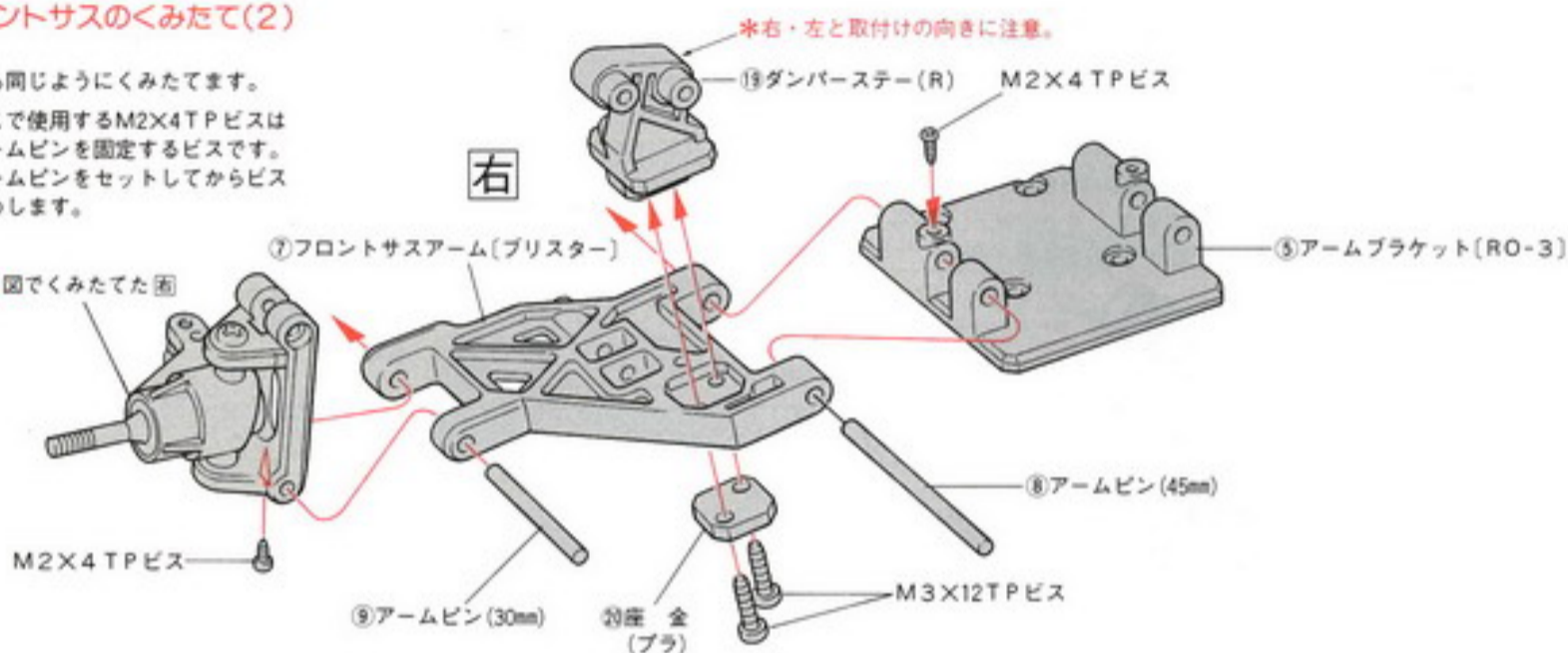
*左も同じようにくみだてます。
*左は(L)、右は(R)と刻印してあります。



4 フロントサスのくみだて(2)

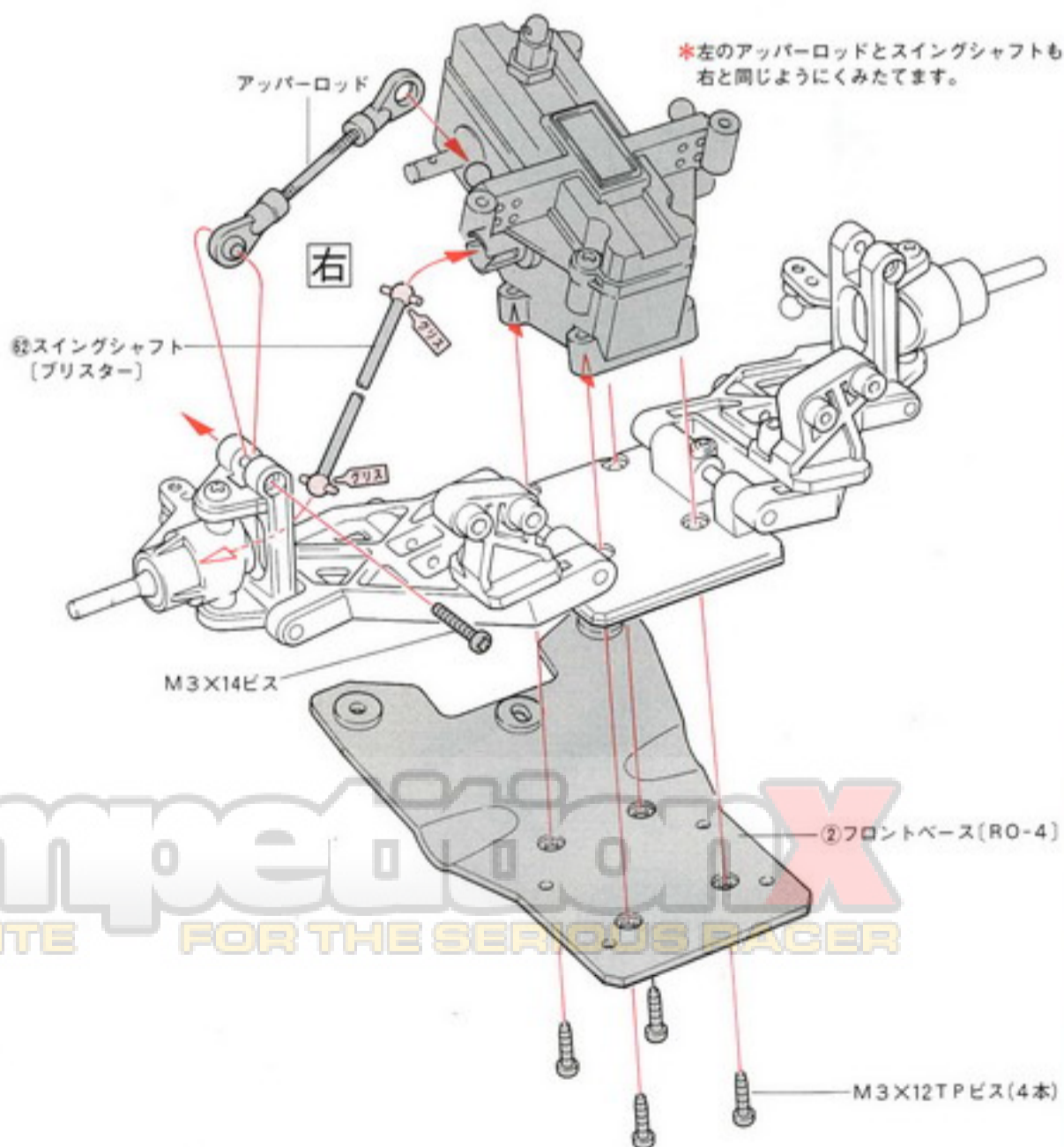
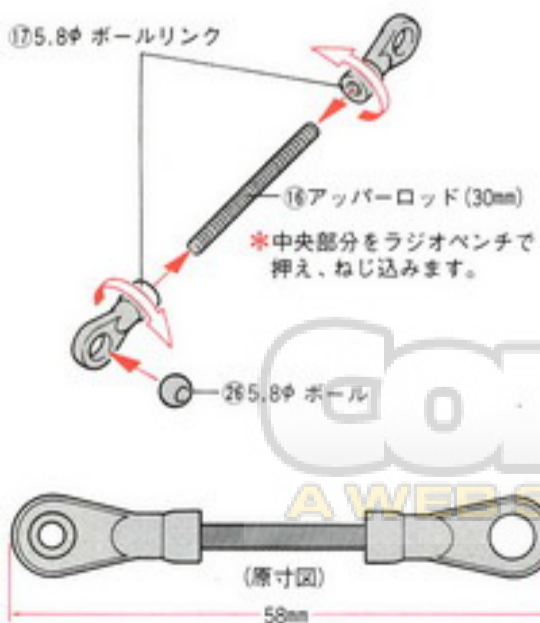
*左も同じようにくみだてます。
*ここで使用するM2X4TPビスはアームピンを固定するビスです。アームピンをセットしてからビス止めします。

図でくみだてた図



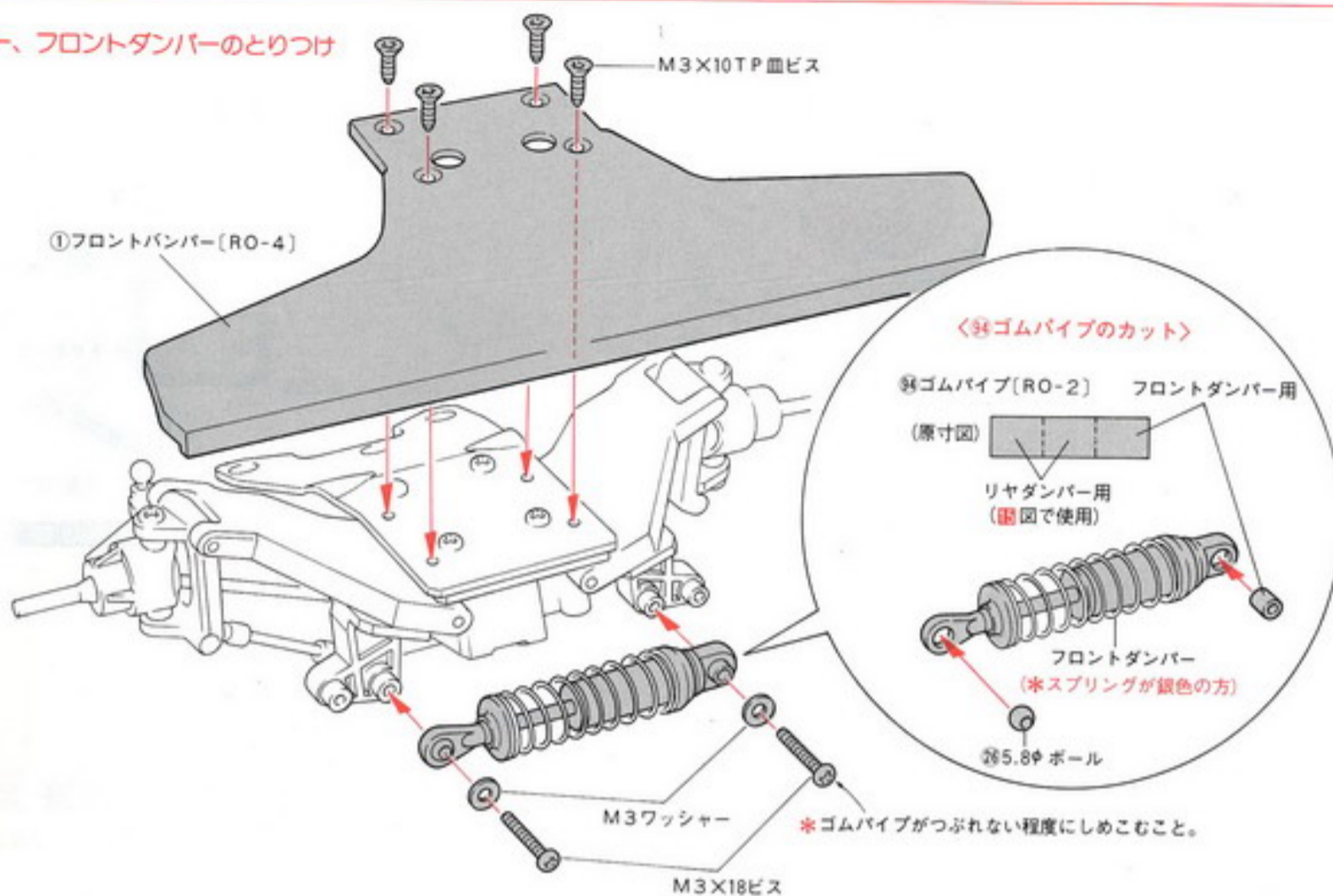
5 フロント部のくみだて

<アッパーロッドのくみだて>
左・右、2本作ります。

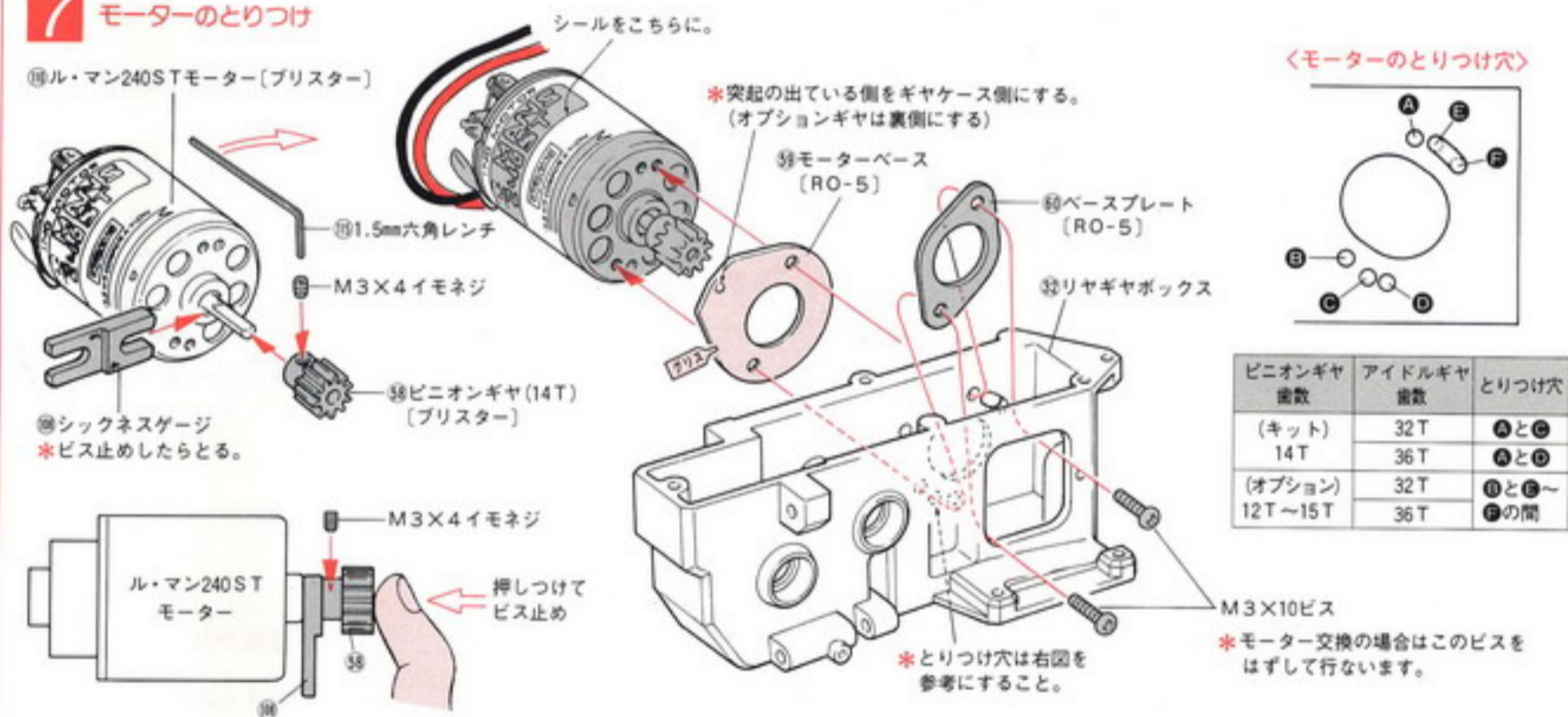


COMpetition X
A WEB SITE FOR THE SERIOUS RACER

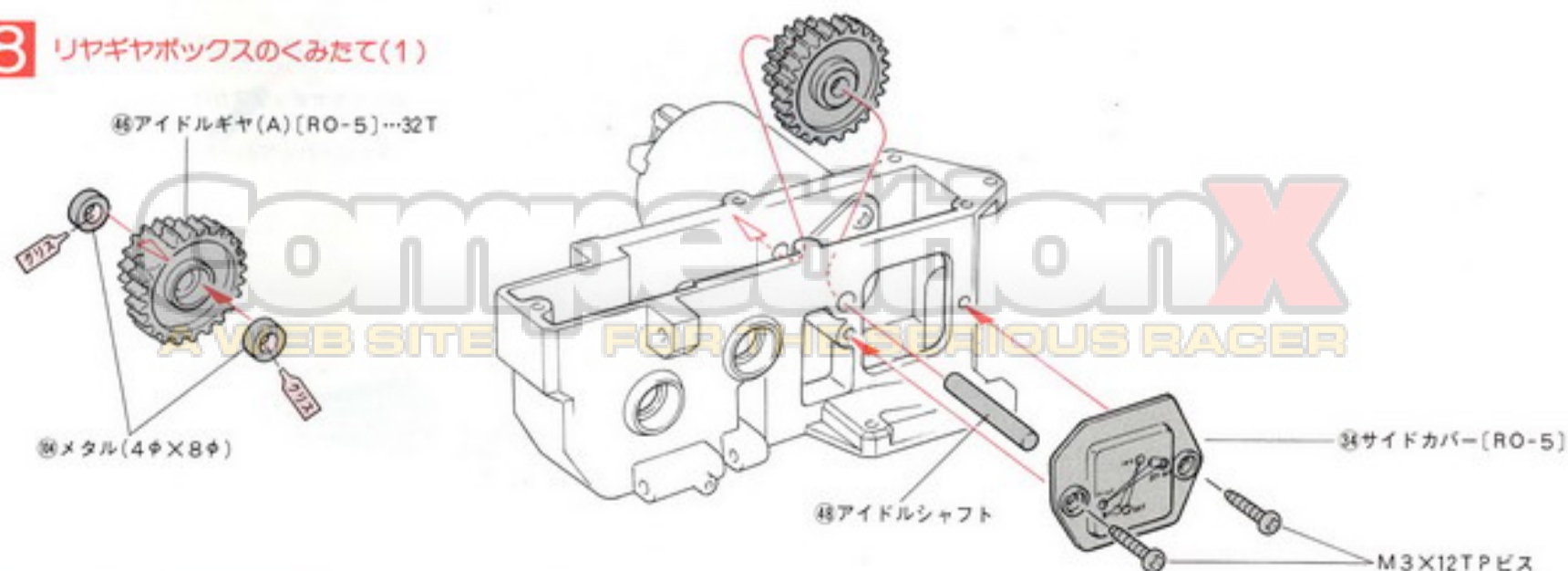
6 バンパー、フロントダンパーのとりつけ



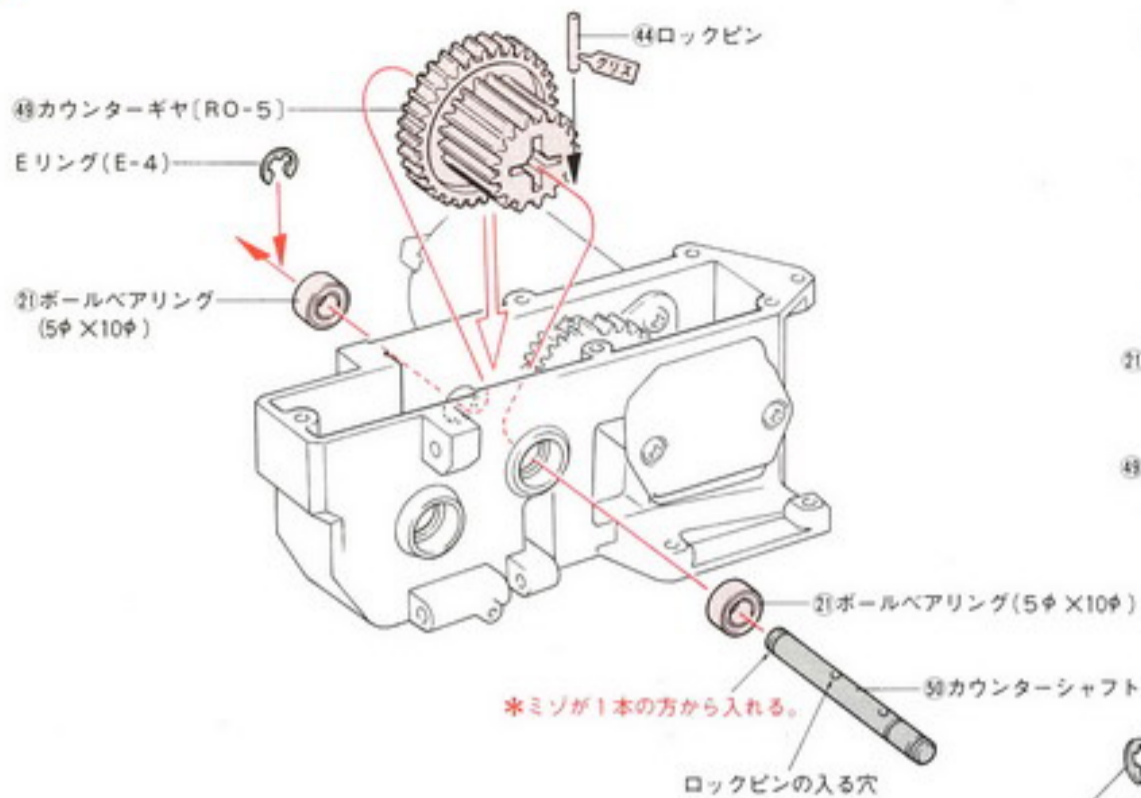
7 モーターのとりつけ



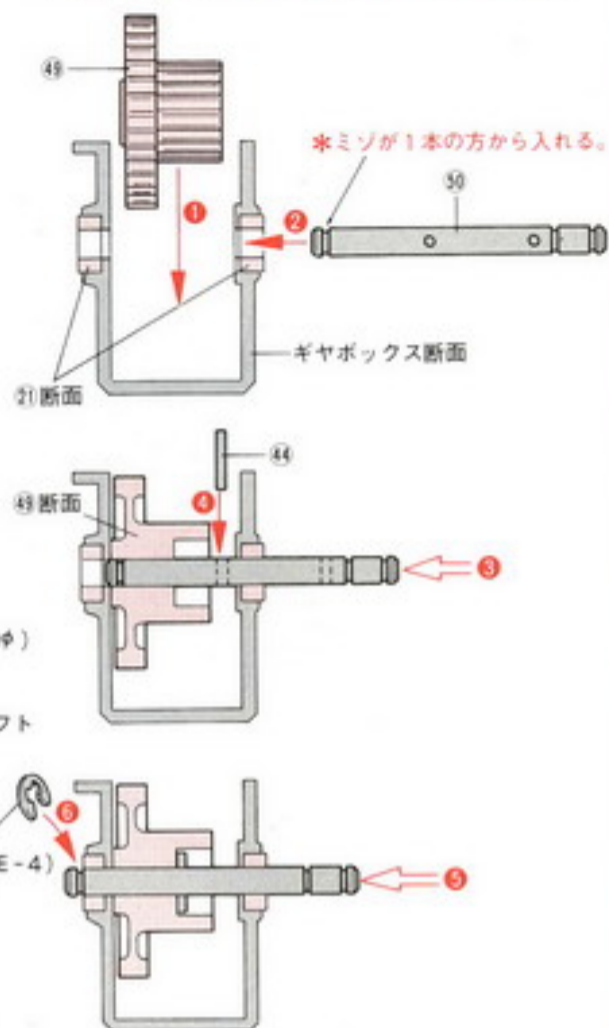
8 リヤギヤボックスのくみだて(1)



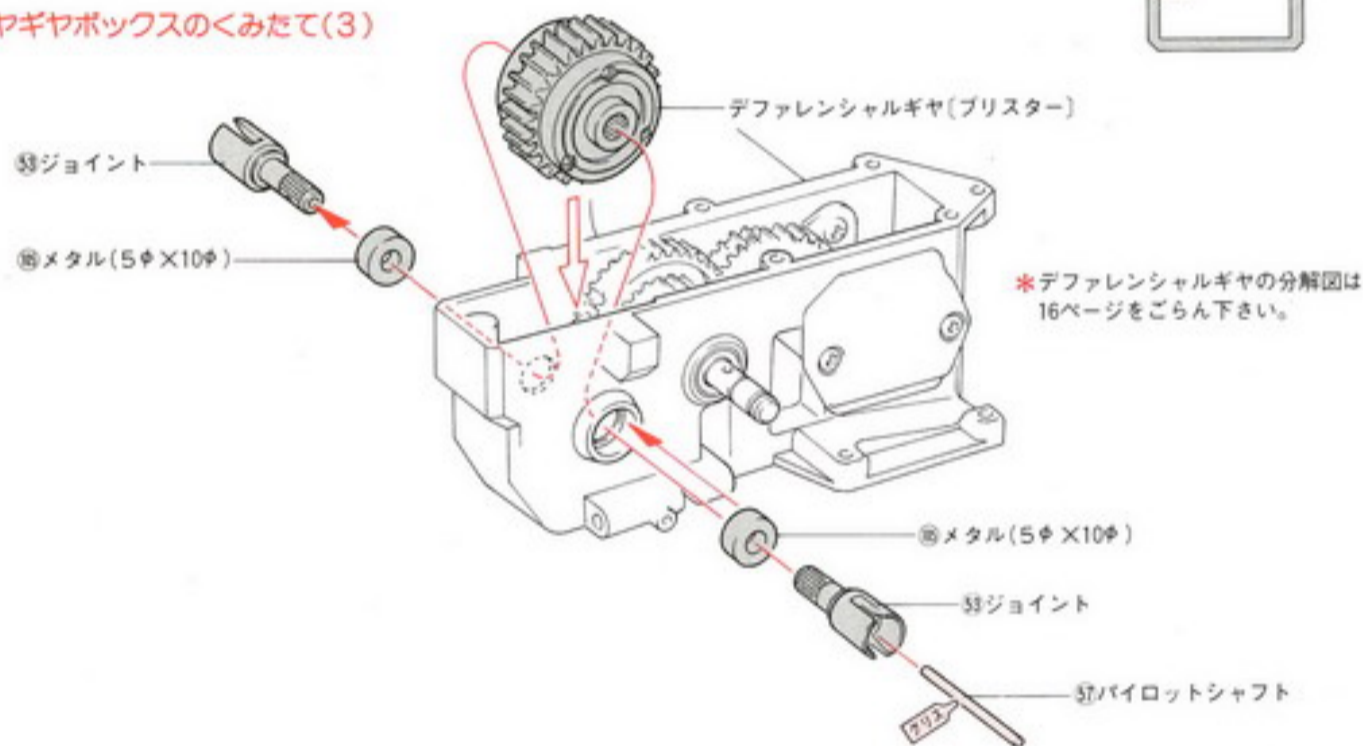
9 リヤギヤボックスのくみたて(2)



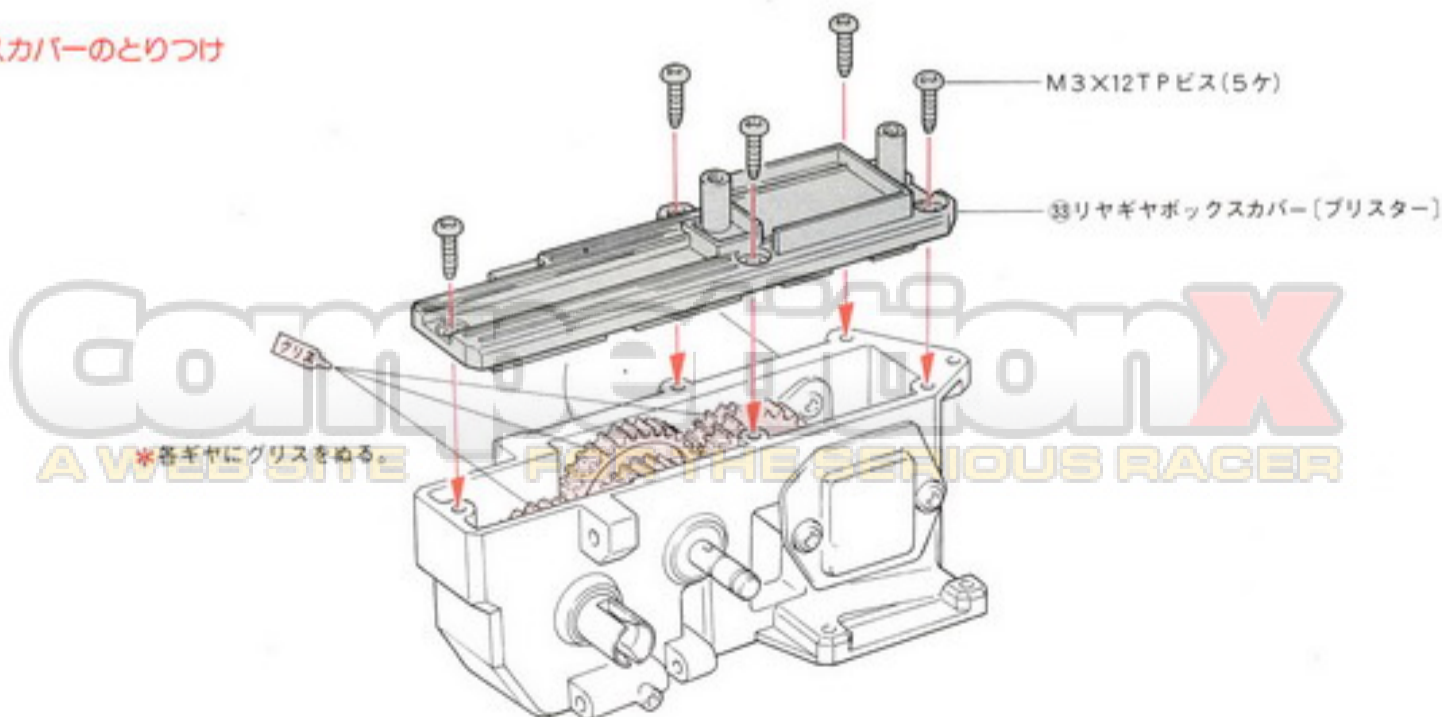
④カウンターギヤは①～③の順にセットします。



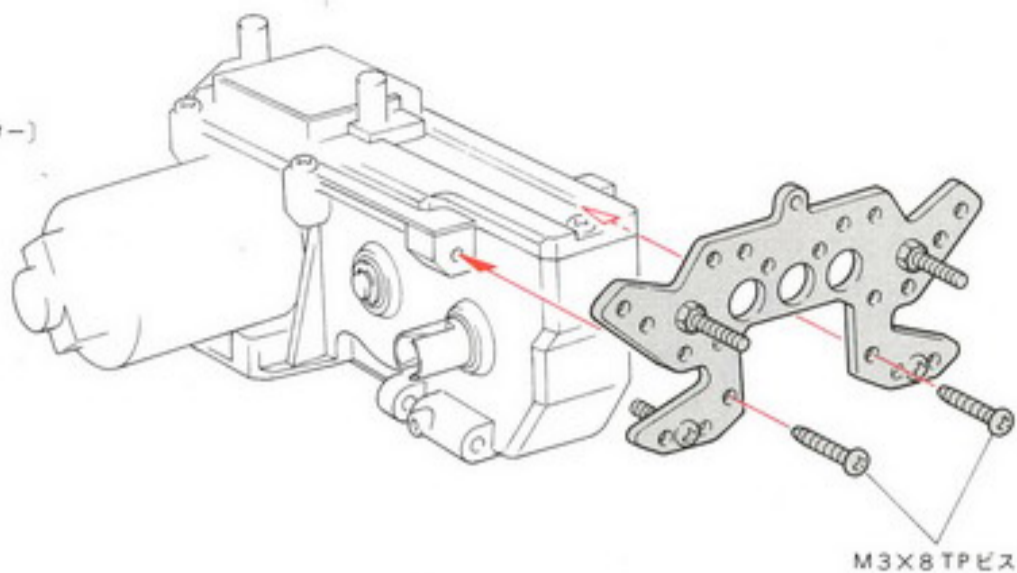
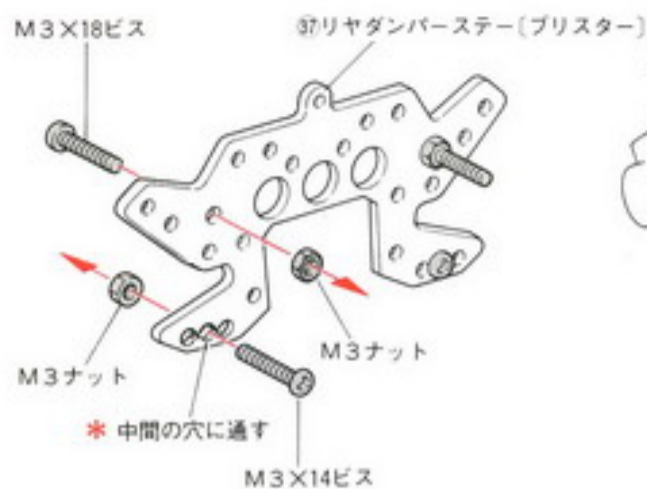
10 リヤギヤボックスのくみたて(3)



11 ギヤボックスカバーのとりつけ

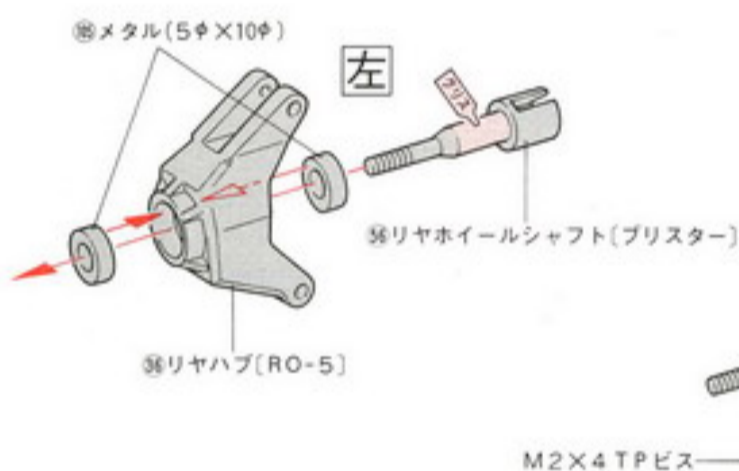


12 リヤダンパースターのとりつけ

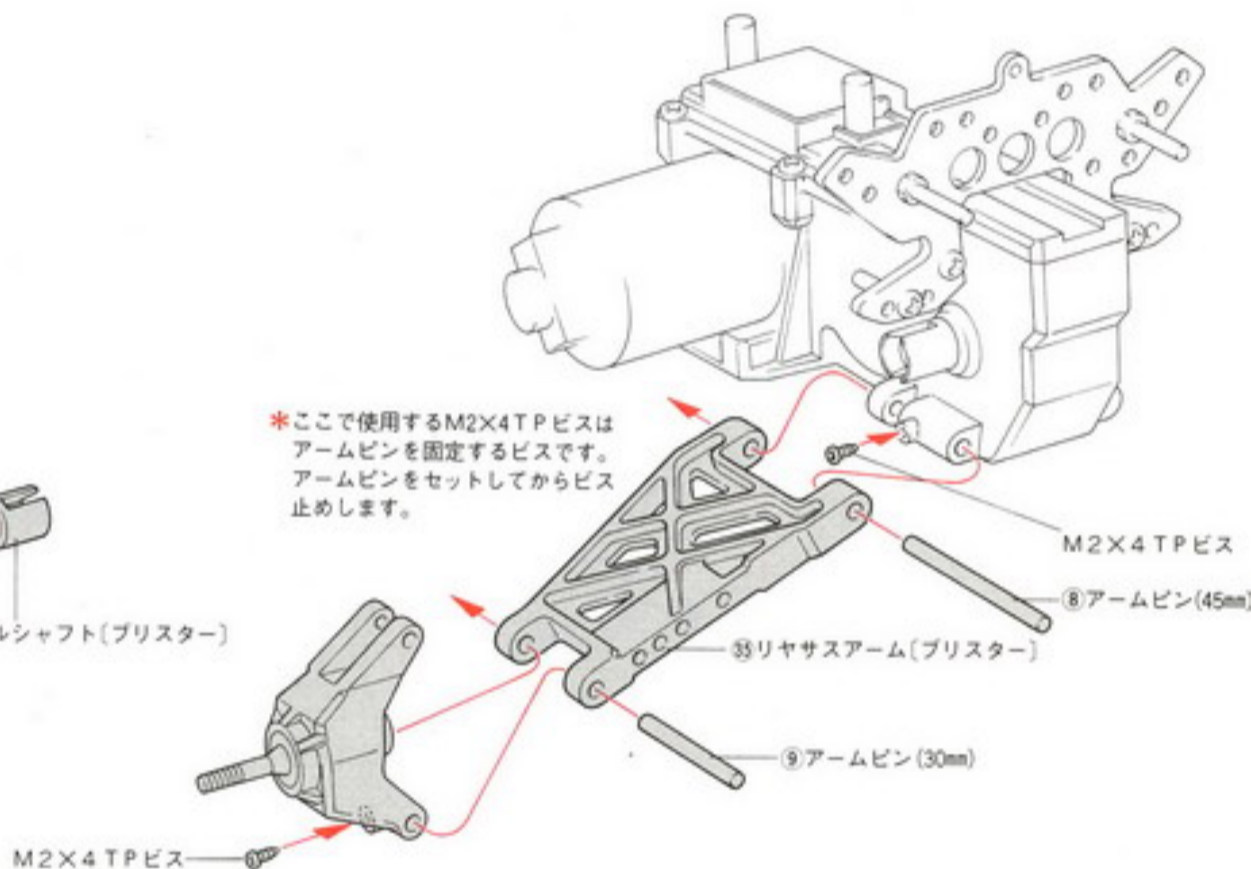


13 リヤサスのくみだて(1)

*右も同じようにくみだてます。



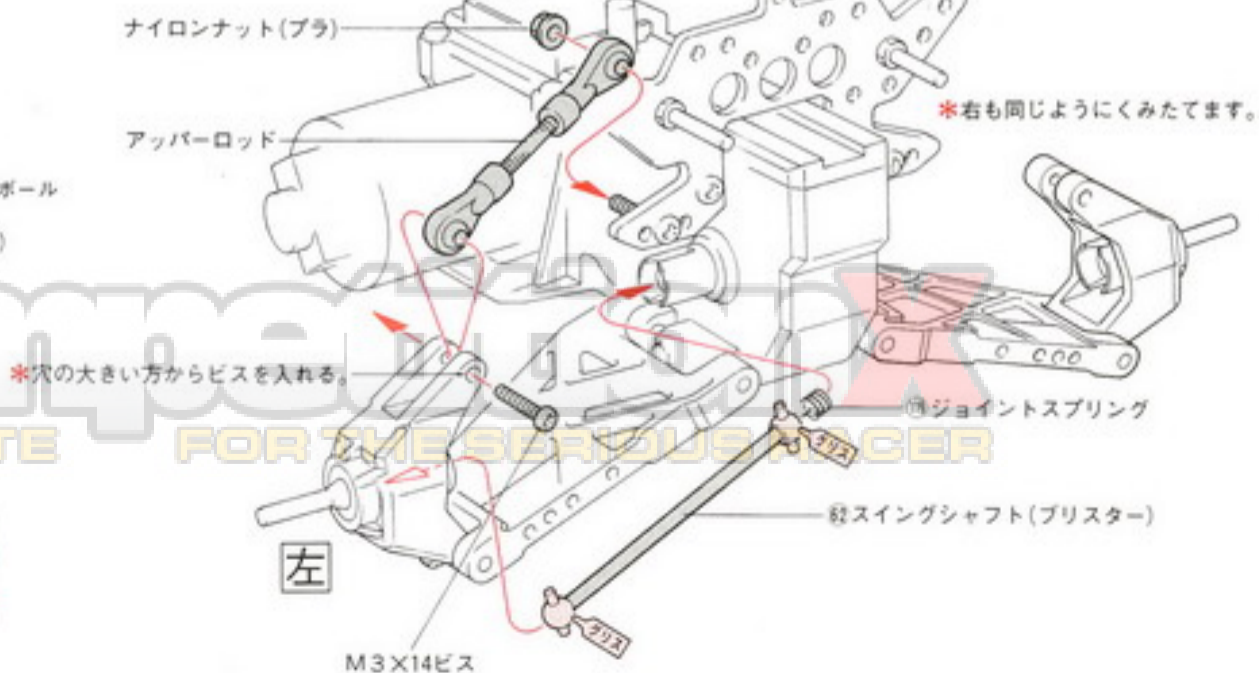
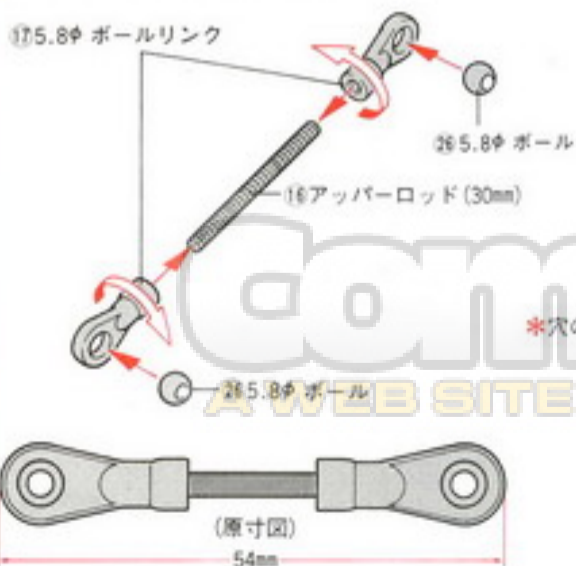
*ここで使用するM2X4TPビスはアームピンを固定するビスです。アームピンをセットしてからビス止めします。



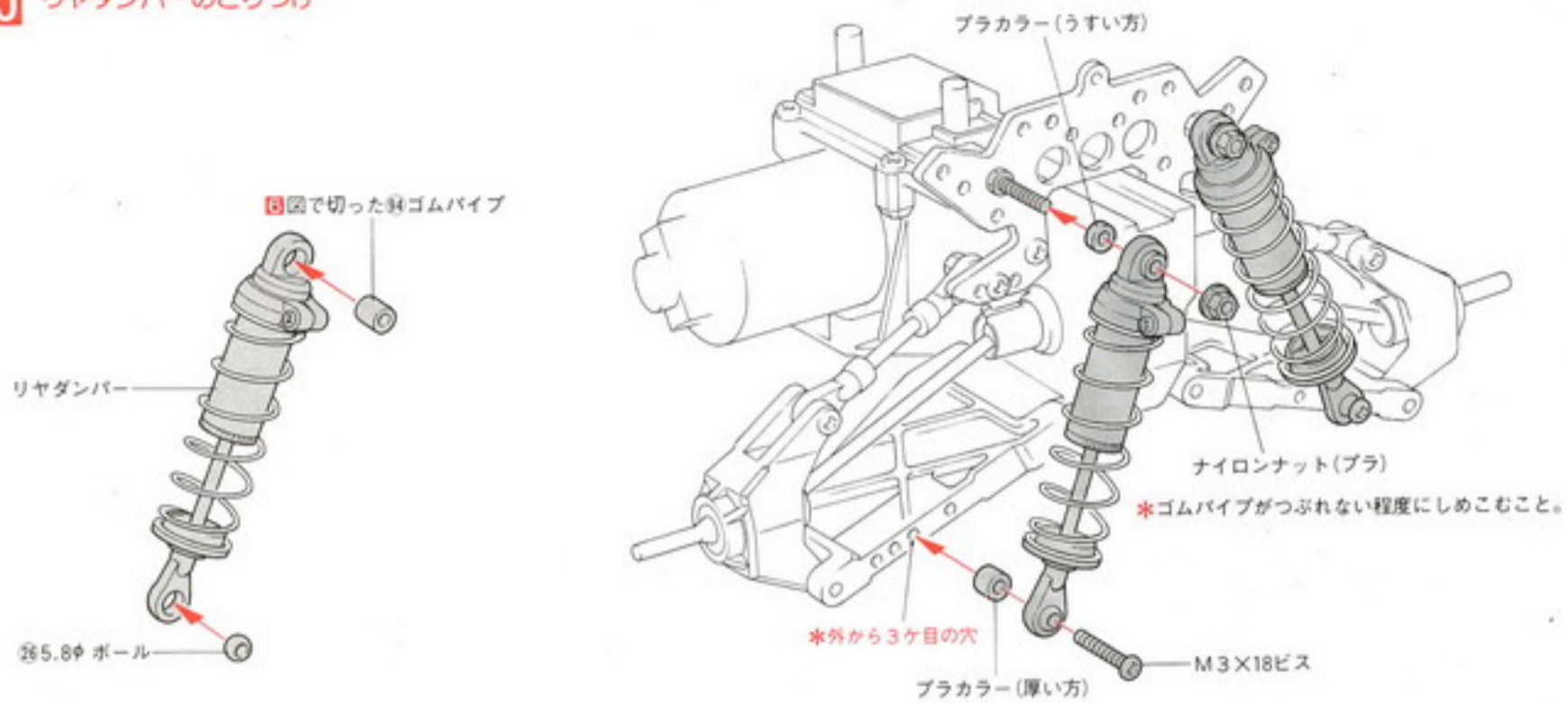
14 リヤサスのくみだて(2)

<アッパーロッドのくみだて>

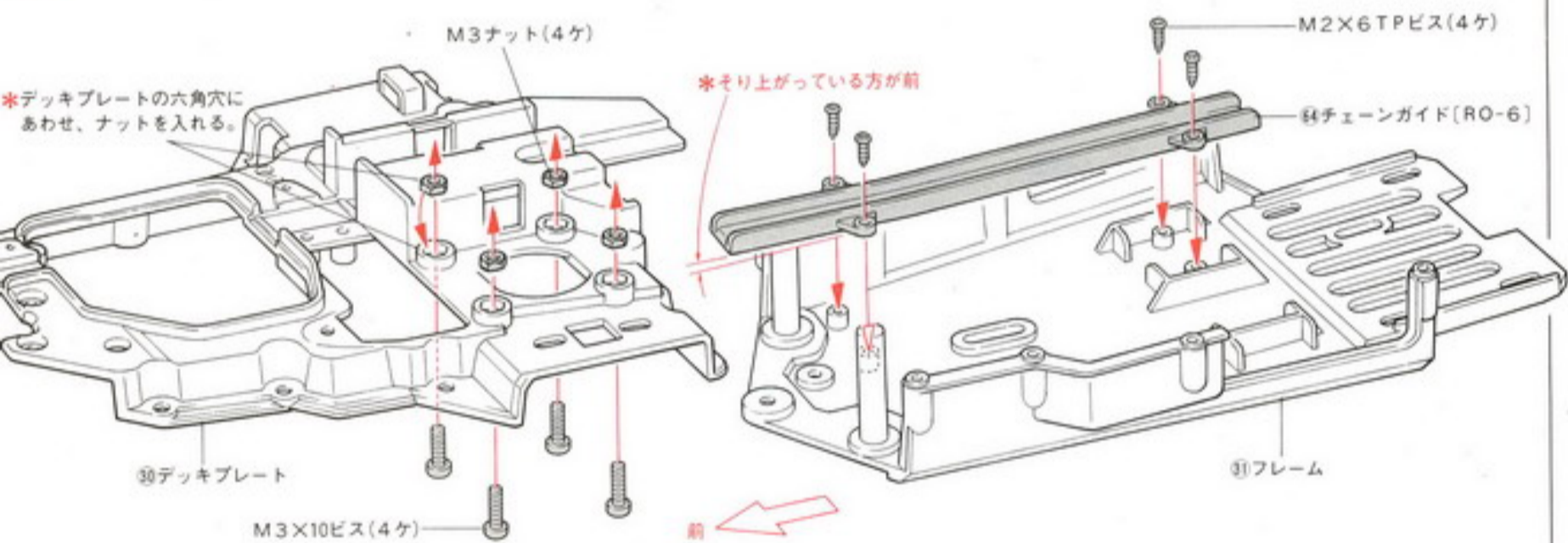
左・右、2本作ります。



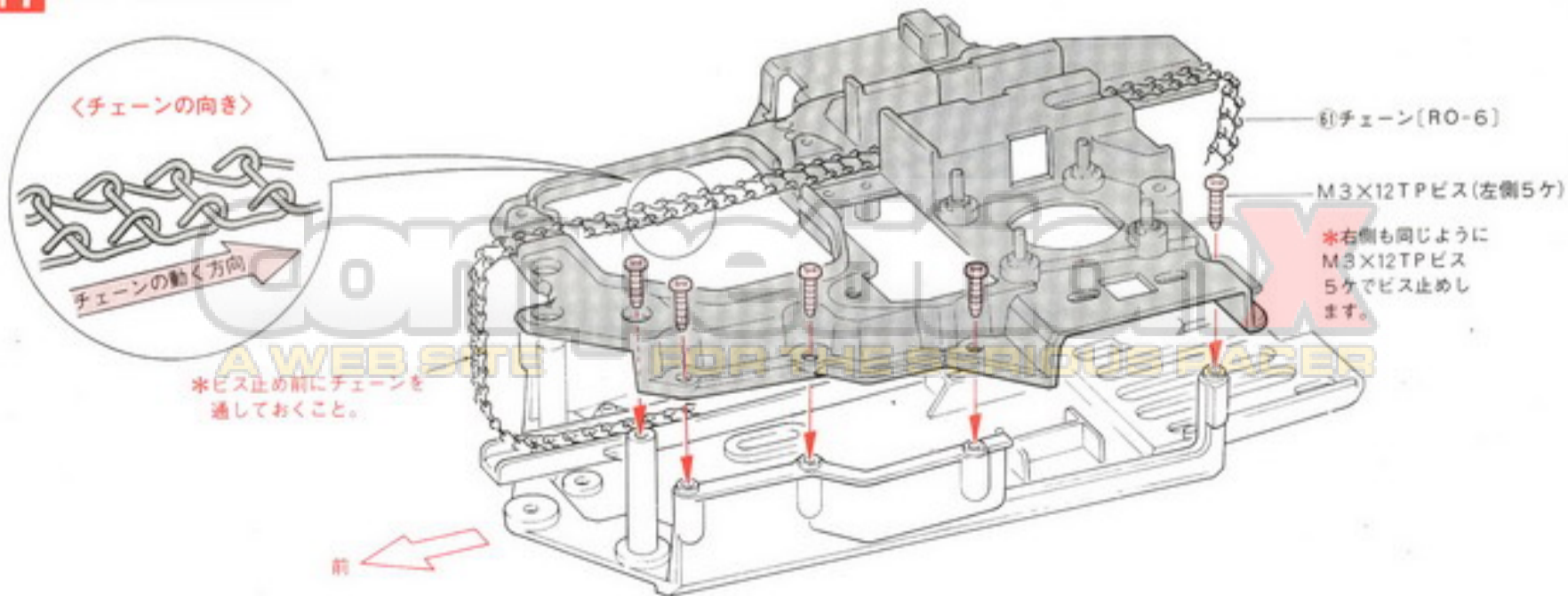
15 リヤダンバーのとりつけ



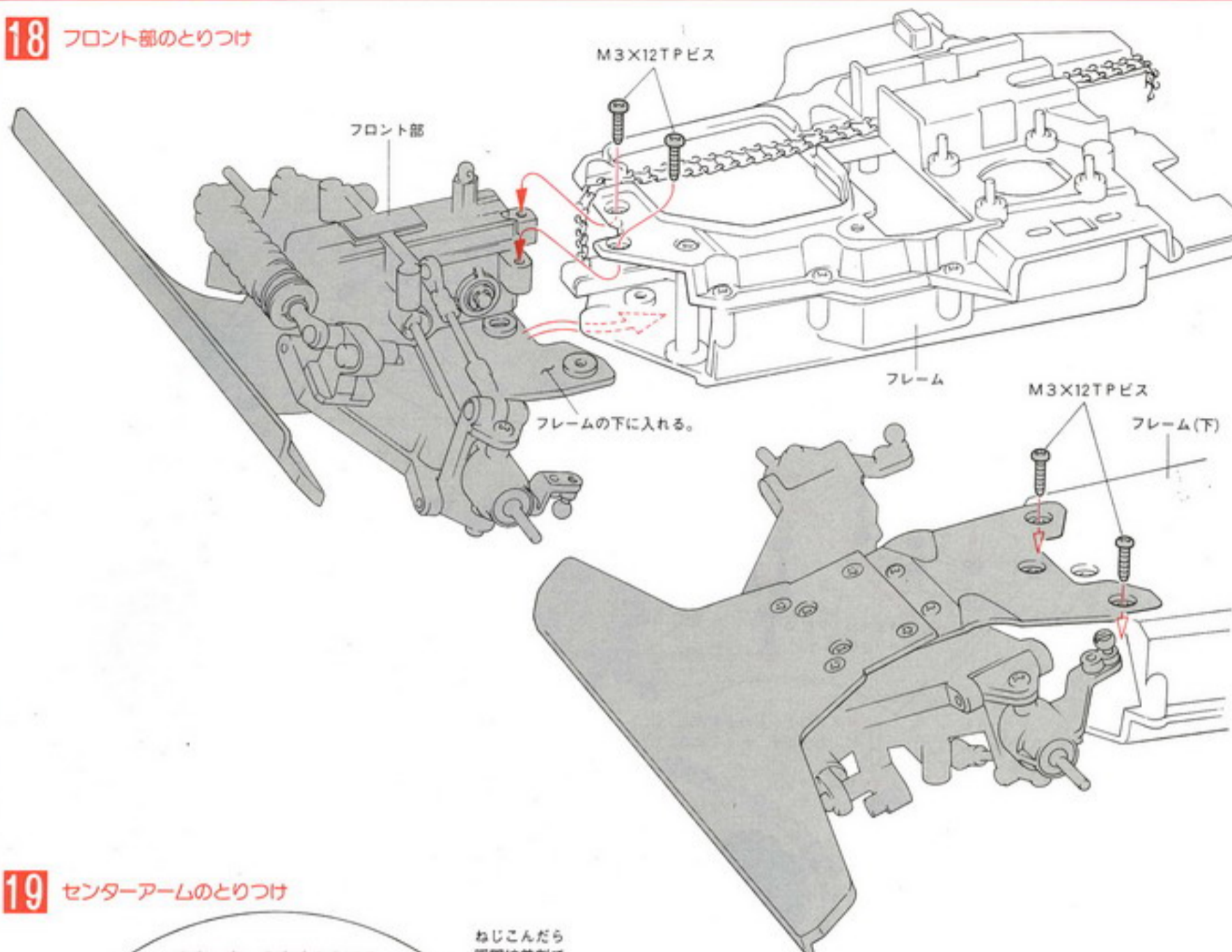
16 フレームとデッキプレートのパーツとりつけ



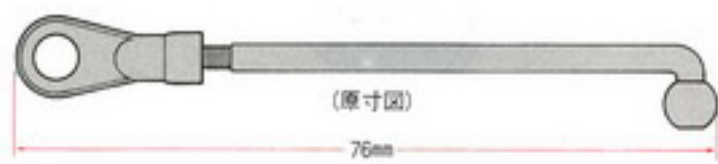
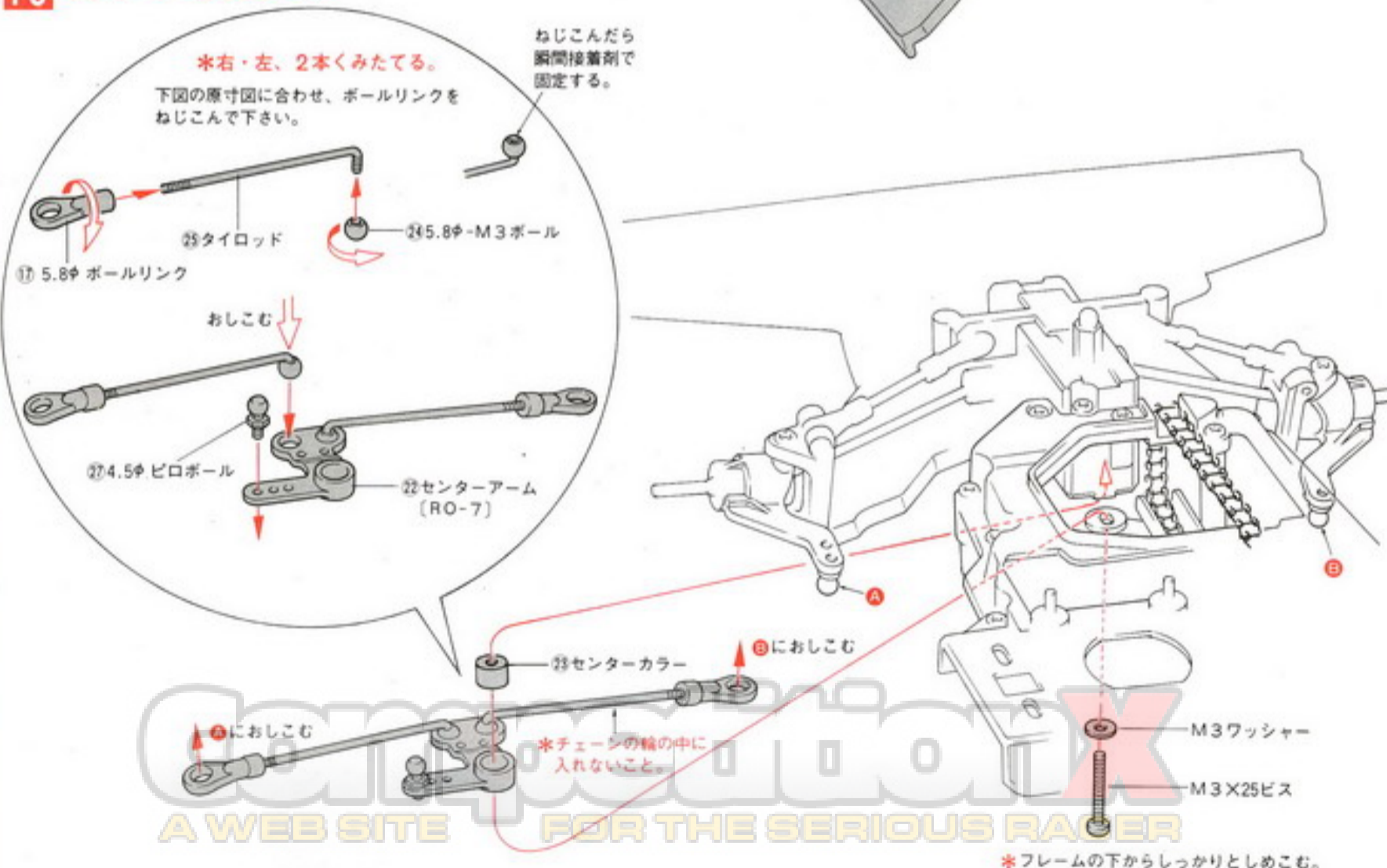
17 フレームのくみだて



18 フロント部のとりつけ



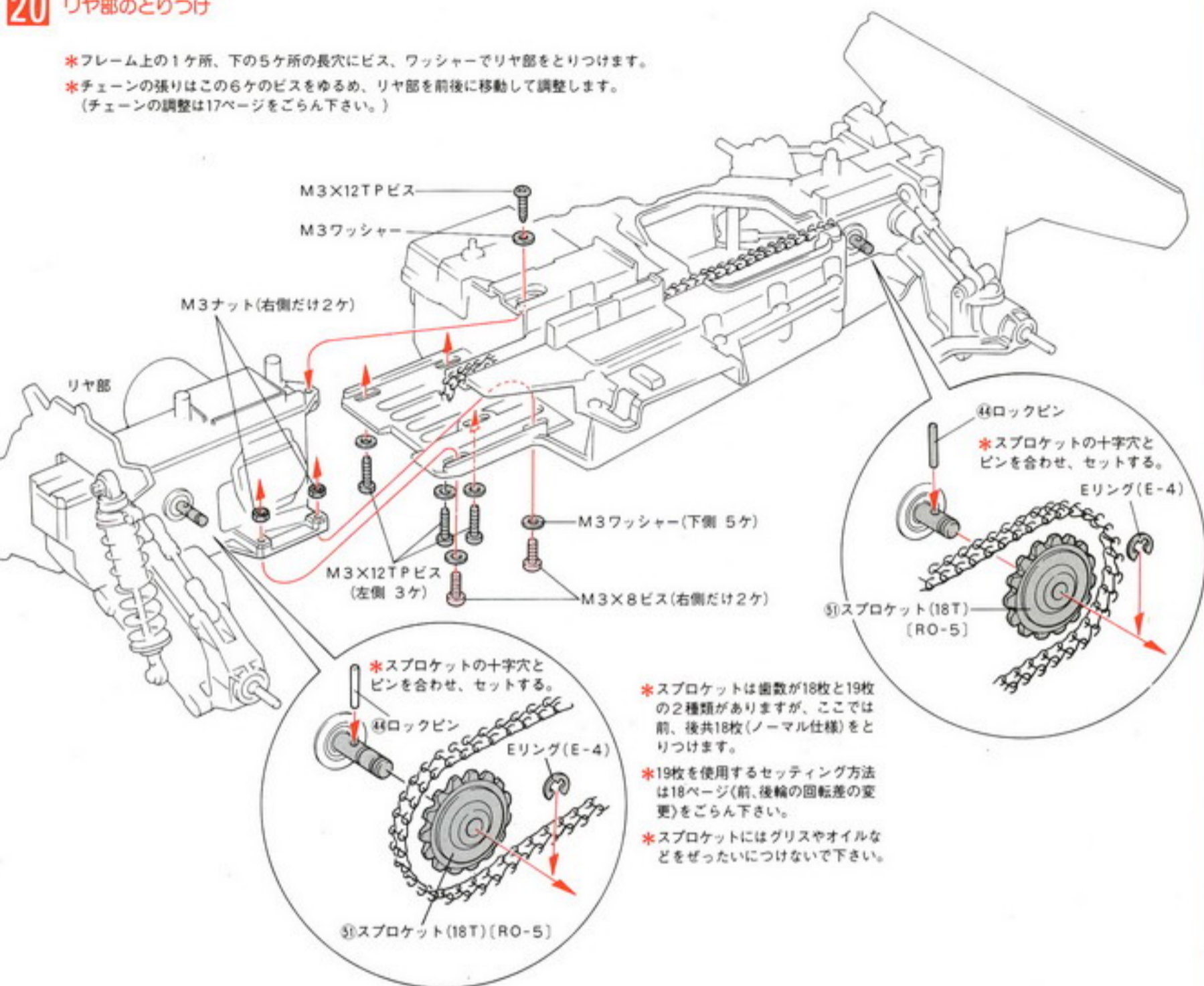
19 センターアームのとりつけ



A WEB SITE FOR THE SERIOUS RACER

20 リヤ部のとりつけ

- *フレーム上の1ヶ所、下の5ヶ所の長穴にビス、ワッシャーでリヤ部をとりつけます。
- *チェーンの張りはこの6ヶ所のビスをゆるめ、リヤ部を前後に移動して調整します。
(チェーンの調整は17ページをごらん下さい。)

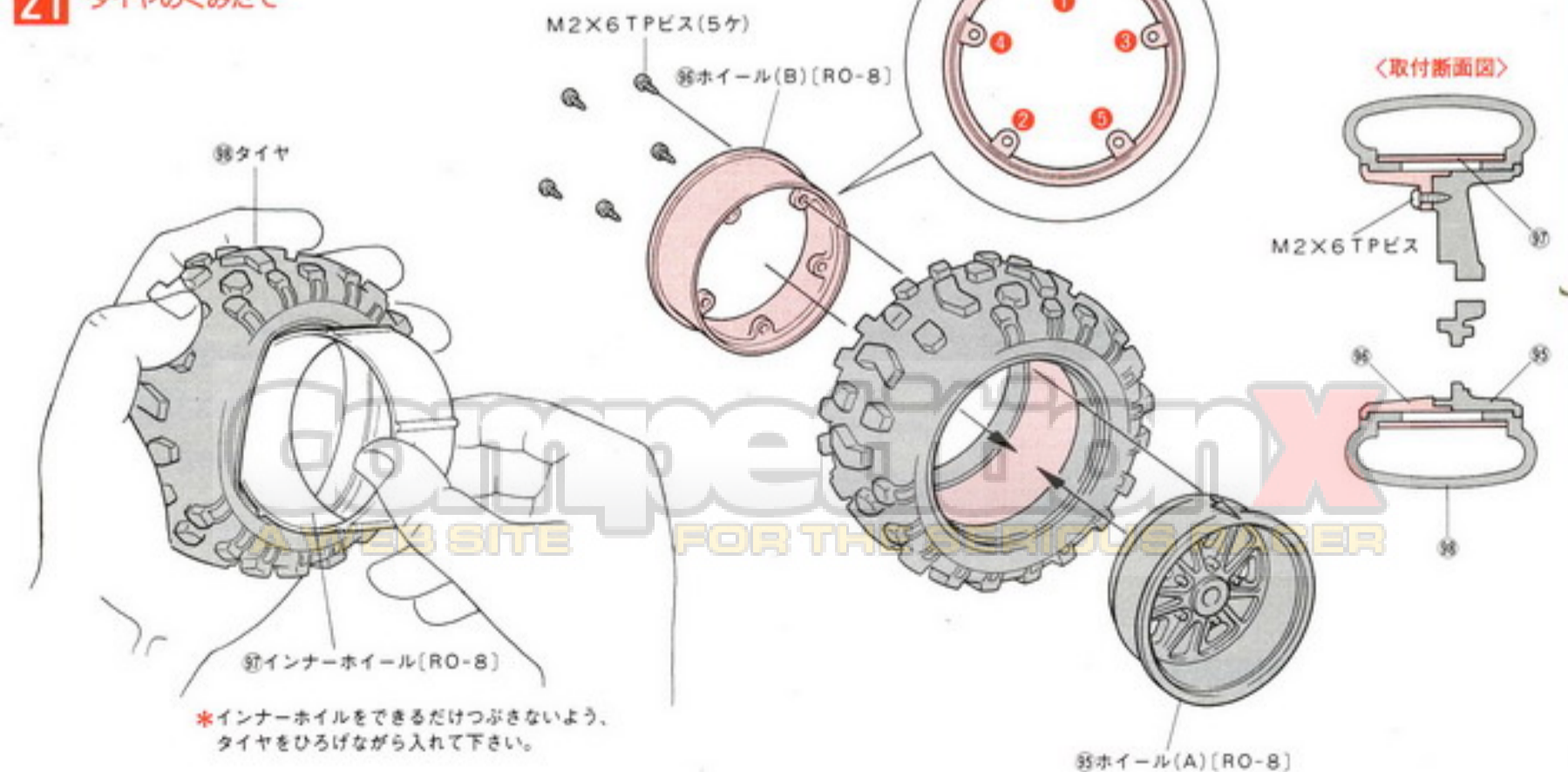


- *スプロケットは歯数が18枚と19枚の2種類がありますが、ここでは前、後共18枚(ノーマル仕様)をとりつけます。
- *19枚を使用するセッティング方法は18ページ(前、後輪の回転差の変更)をごらん下さい。
- *スプロケットにはグリスやオイルなどをぜったいにつけないで下さい。

<とりつけビスのしめつけ>

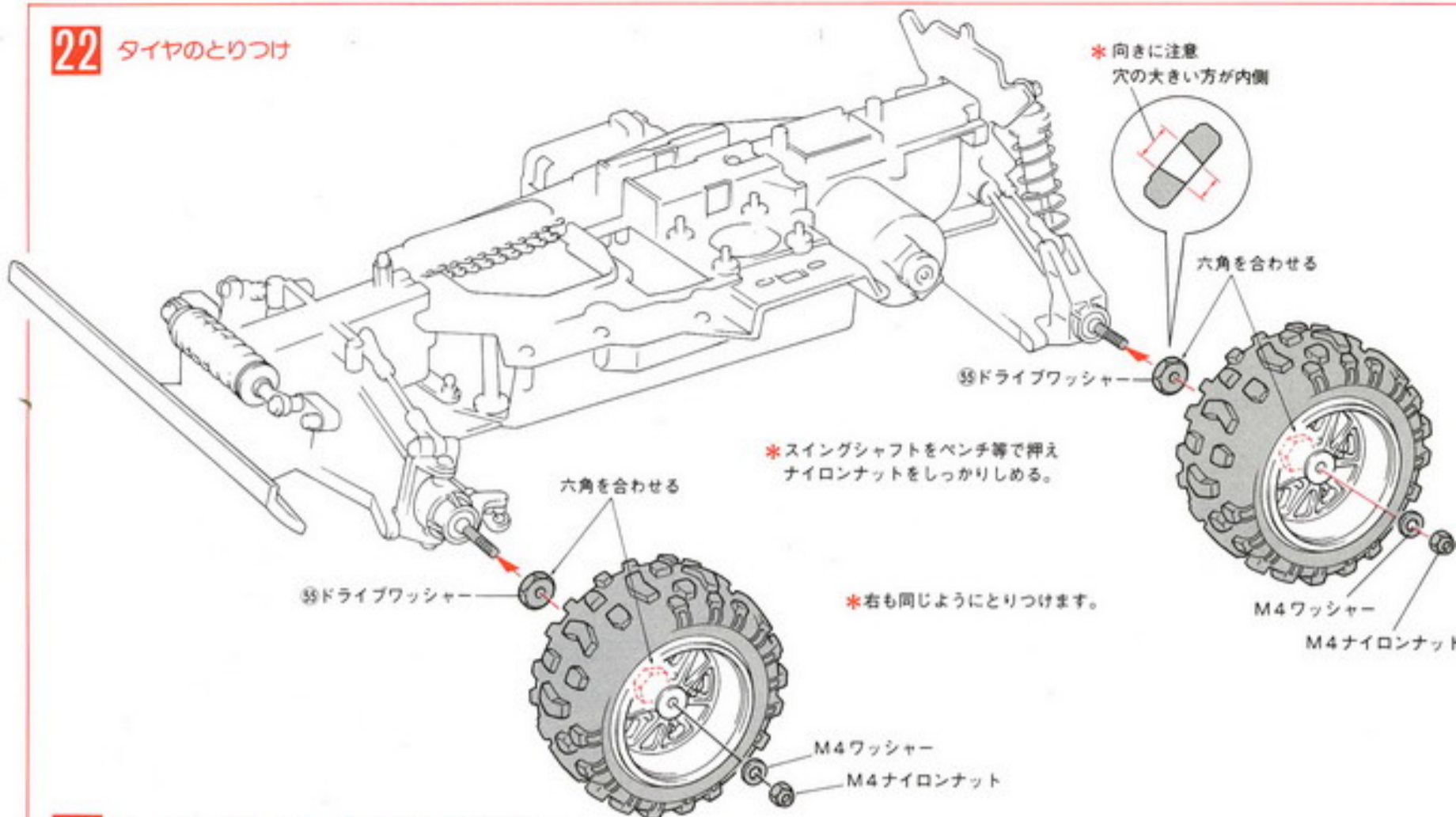
- ①～⑤の順に5本のビスを少しずつしめつけていくとタイヤがゆがまずにくみだてられます。

21 タイヤのくみだて



- *インナーホイールをできるだけつぶさないよう、タイヤをひろげながら入れて下さい。

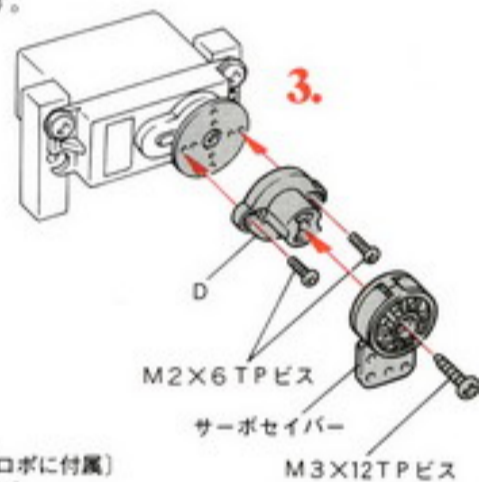
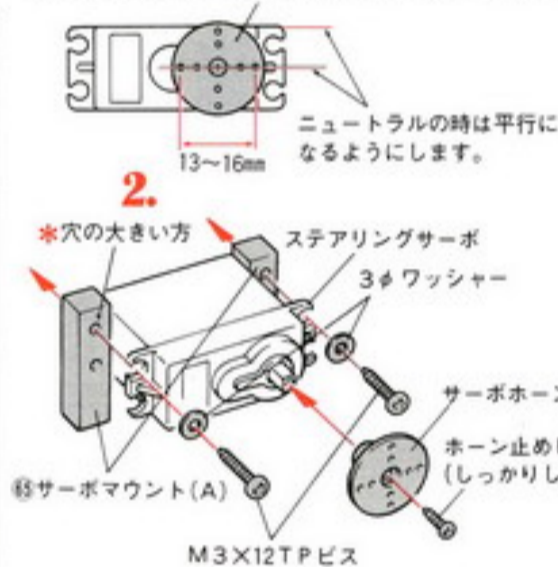
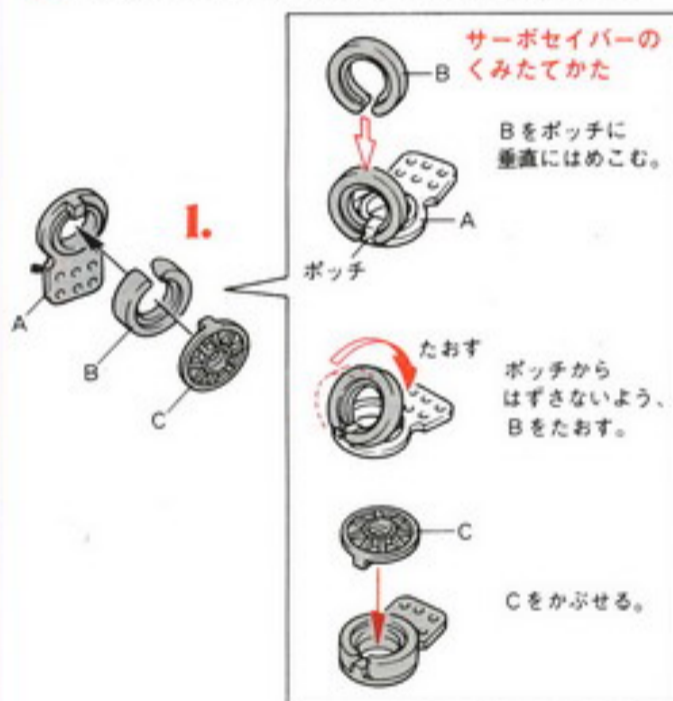
22 タイヤのとりつけ



23 サーボセイバーとサーボマウントのとりつけ

*サーボセイバーパーツ(A~D)は[RO-9]に入っています。

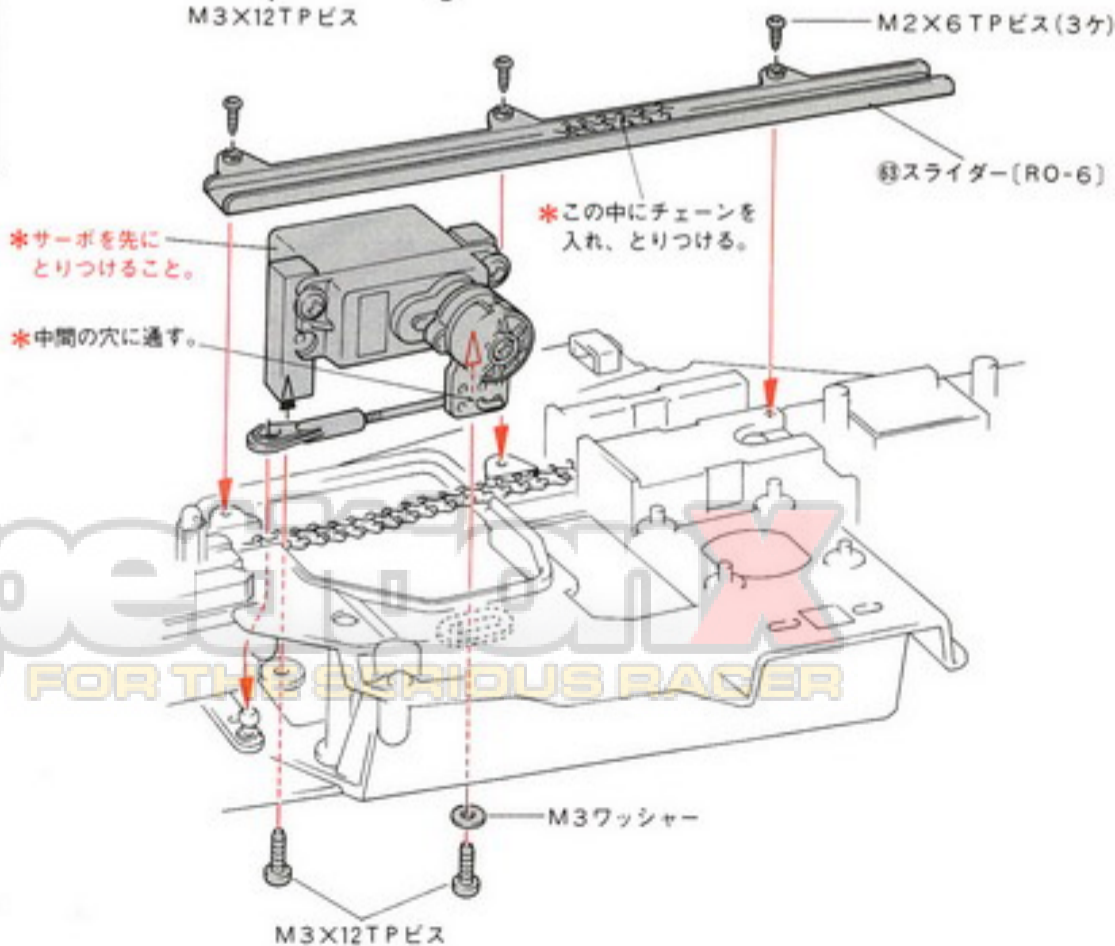
穴のかんかくが13mm~16mmのまるいサーボホーンをつかいます。



24 ステアリングサーボのとりつけ



- *ステアリングサーボがニュートラルの時、前輪タイヤがまっすぐ前に向くよう、ボールリンクの長さを調整する。
- *サーボホーンを前側に回転させると調整が楽に行なえます。



25 スピードコントローラー(スピコン)サーボとスイッチのとりつけ

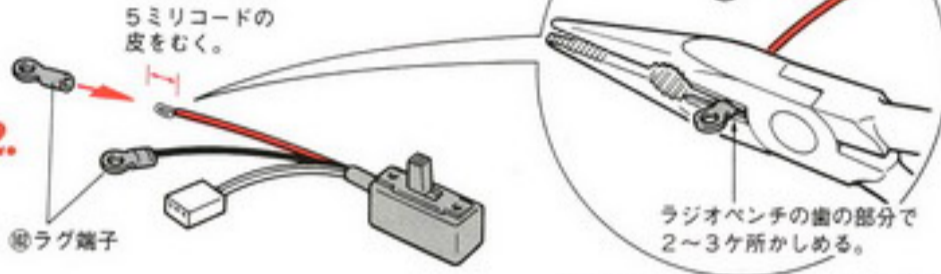
電池ボックス
(使いません)

- *スピコンとはスピードコントローラーの略です。
- *本車はプロポの受信機電源を走行用電池(7.2Vニカドバッテリー)から取る共用電源方式になっておりますから、下記のスイッチ加工が必要です。別紙「使用する小物パーツ一覧表」の原寸スケールに合わせカットして下さい。
- *BEC方式プロポを使用する方は16ページをごらん下さい。

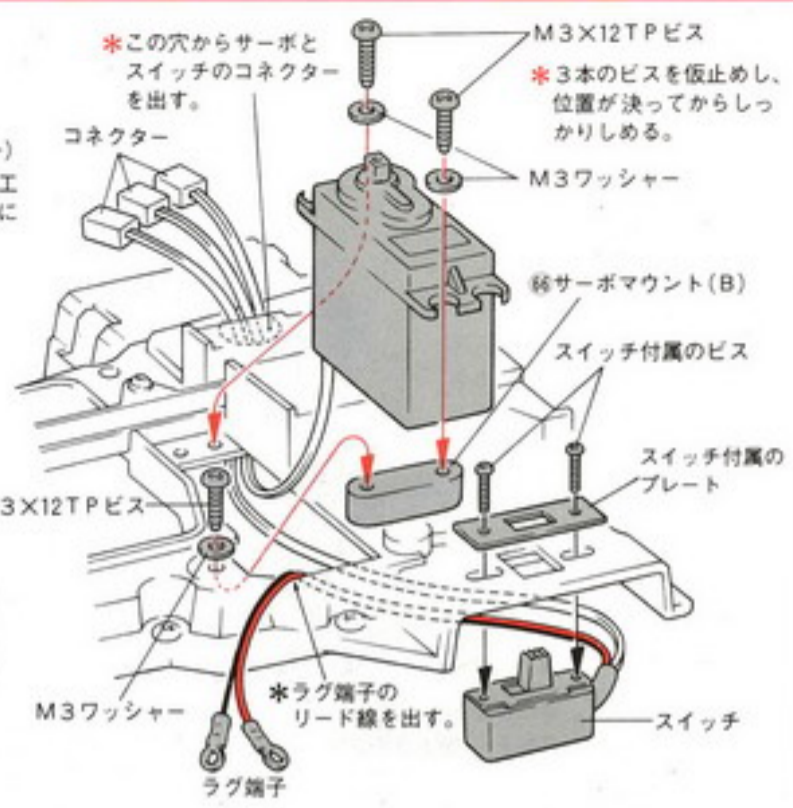
1.



2.



*ラグ端子取り付け後はリード線が細いので無理に取りつかうと断線するので注意。



26 スピコンのとりつけ

<注意>

①リード線を取りつける時、 \oplus 、 \ominus をまちがえると、いっしょんで受信機がこわれてしまうことがあります。右図の配線図を見て取りつけて下さい。

下の表のようにリード線の \oplus 、 \ominus の色は各メーカーのプロポでちがいます。

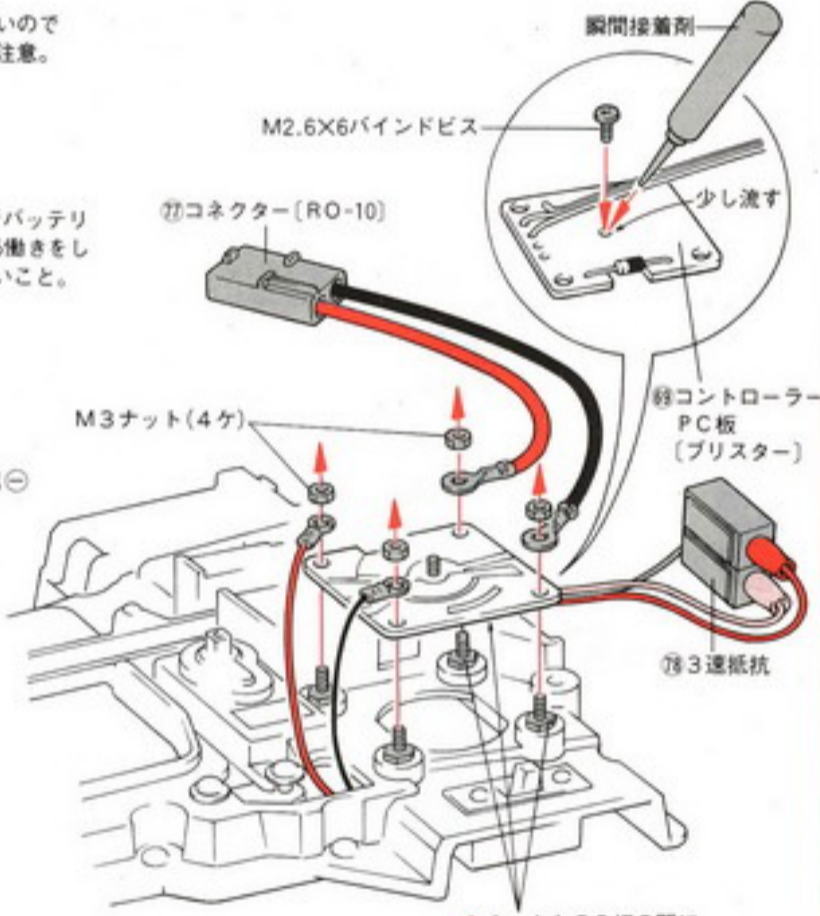
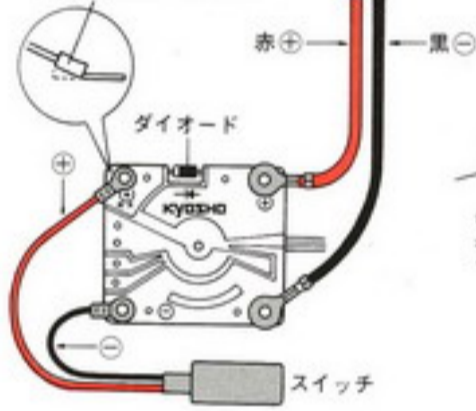


<スイッチ側リード線の \oplus 、 \ominus 見わけ方>

プロポ名	電圧	\oplus	\ominus
フタバ		赤	黒
JR		赤	茶
サンワ		白スジ又は赤	黒
KO		赤	黒
京商		赤	黒

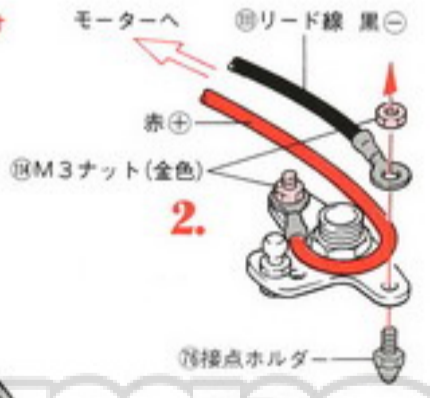
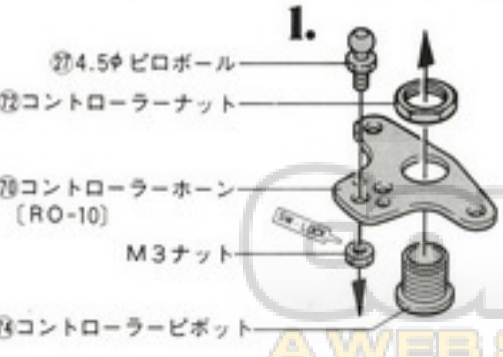
<配線図>

*他の部分に接触しないように端子を上へまげる。



*ナットとPC板の間に抵抗コードをはさまないこと。

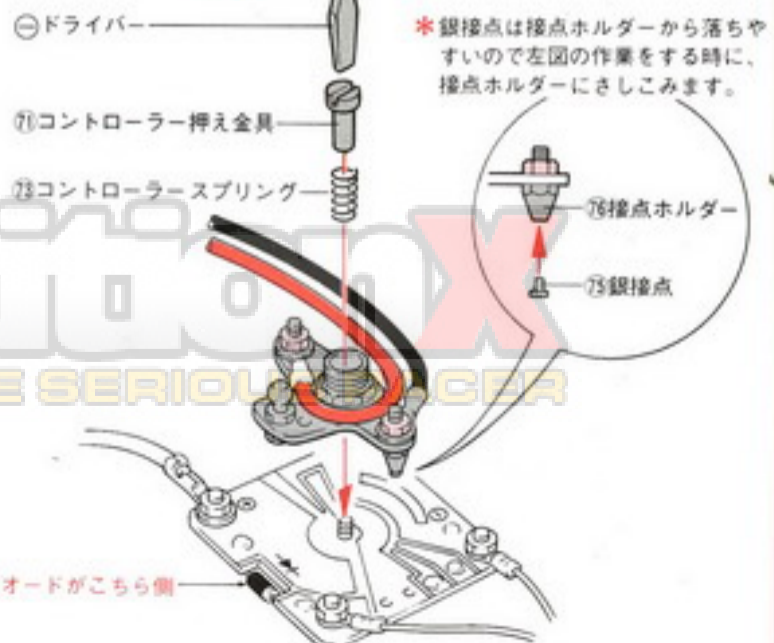
27 コントローラーホーンのとりつけ



<とりつけた状態>



3.

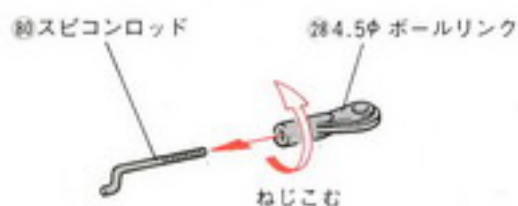


*銀接点は接点ホルダーから落ちやすいので左図の作業をする時に、接点ホルダーにさしこみます。

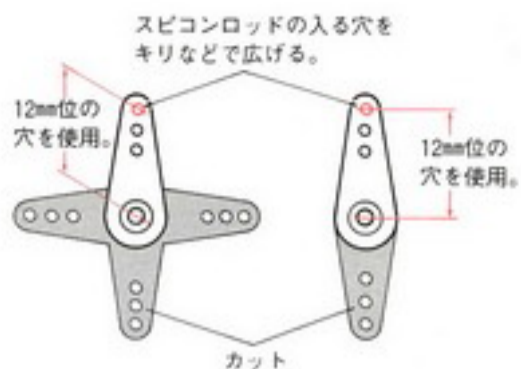
*ダイオードがこちら側

28 スピコンロッドと抵抗カバーのとりつけ

＜ボールリンクのとりつけ＞



＜スピコン用サーボホーンの加工＞

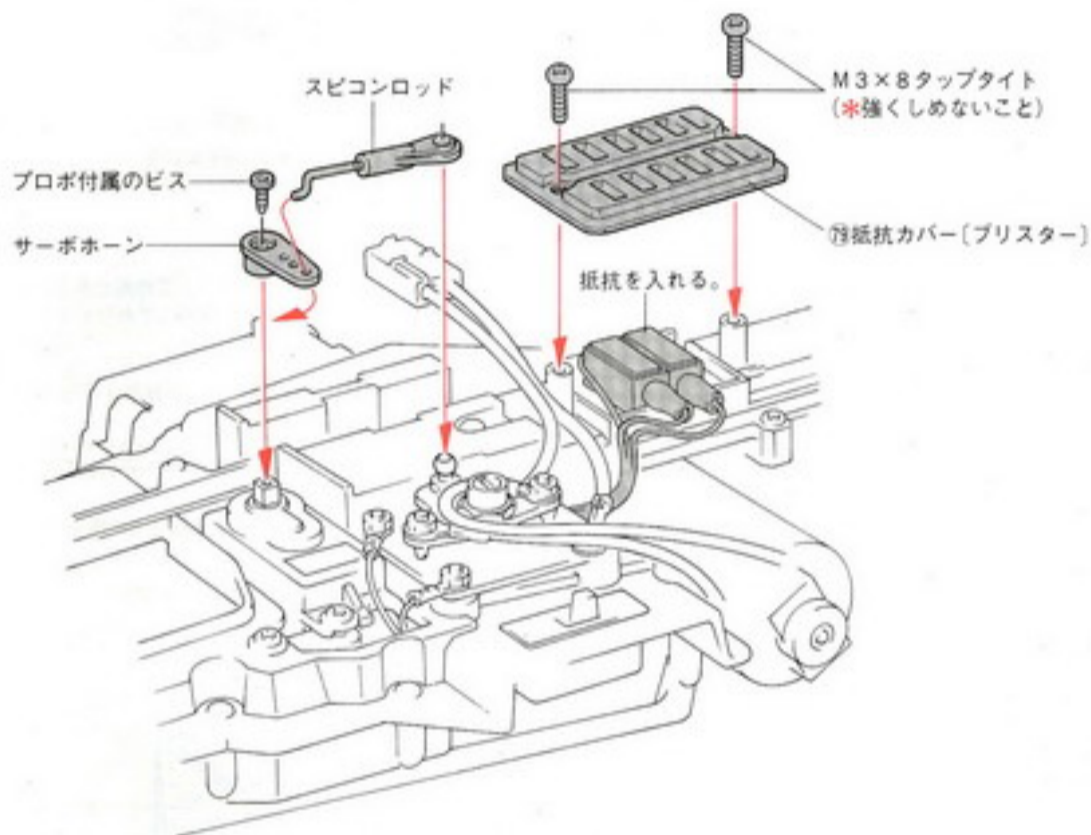
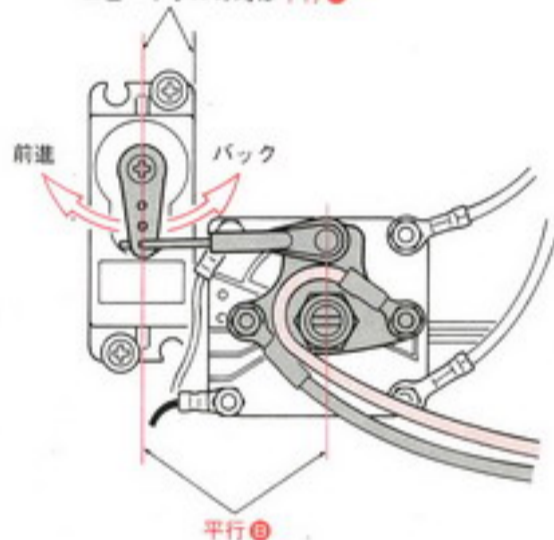


＜ロッドの長さの調整＞

下図のように平行④になるよう、ボールリンクを
まわして長さを調節して下さい。

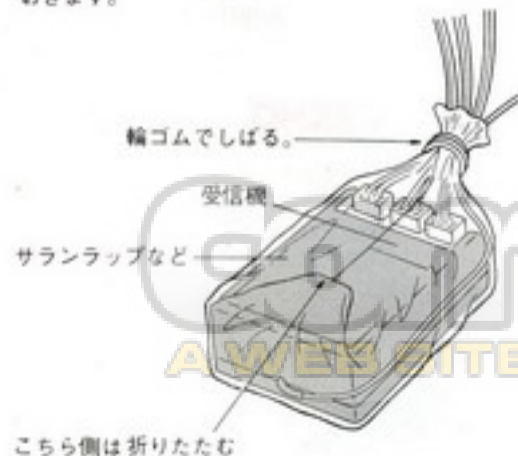


ニュートラルの時は平行④

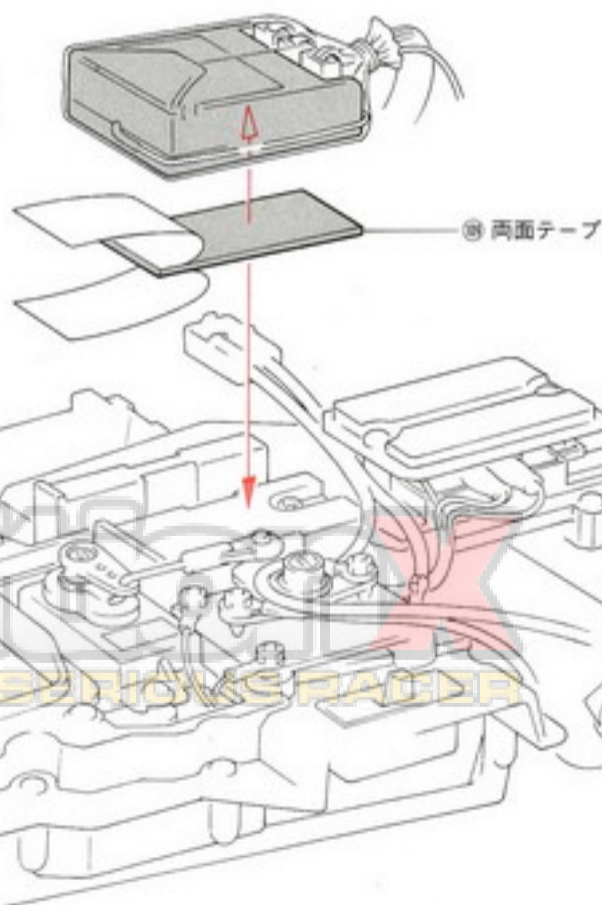


29 受信機のとつけ

*受信機にサーボとスイッチのコンネクターをさしこみ、
水やホコリを防ぐためにサランラップなどに包んで
おきます。

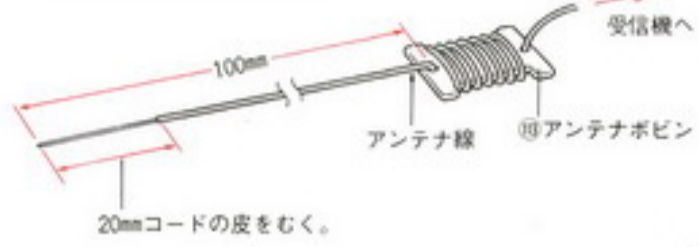


*大型の受信機を使用の場合、
スピコンサーボにあたらぬよう
両面テープを重ね、受信機を高く
とりつけて下さい。



30 アンテナのとりつけ

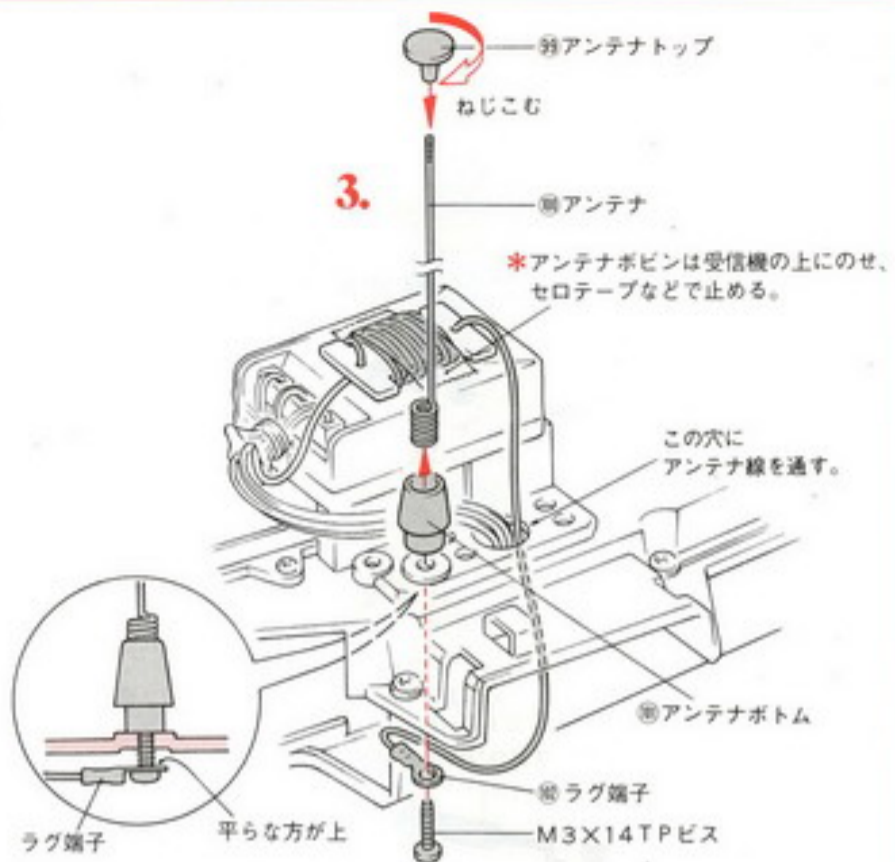
1. アンテナ線をアンテナボビンにまきつけ100mmぐらい出す。



2. 図図のようにかしめる。
ラグ端子を4つ折りにする。

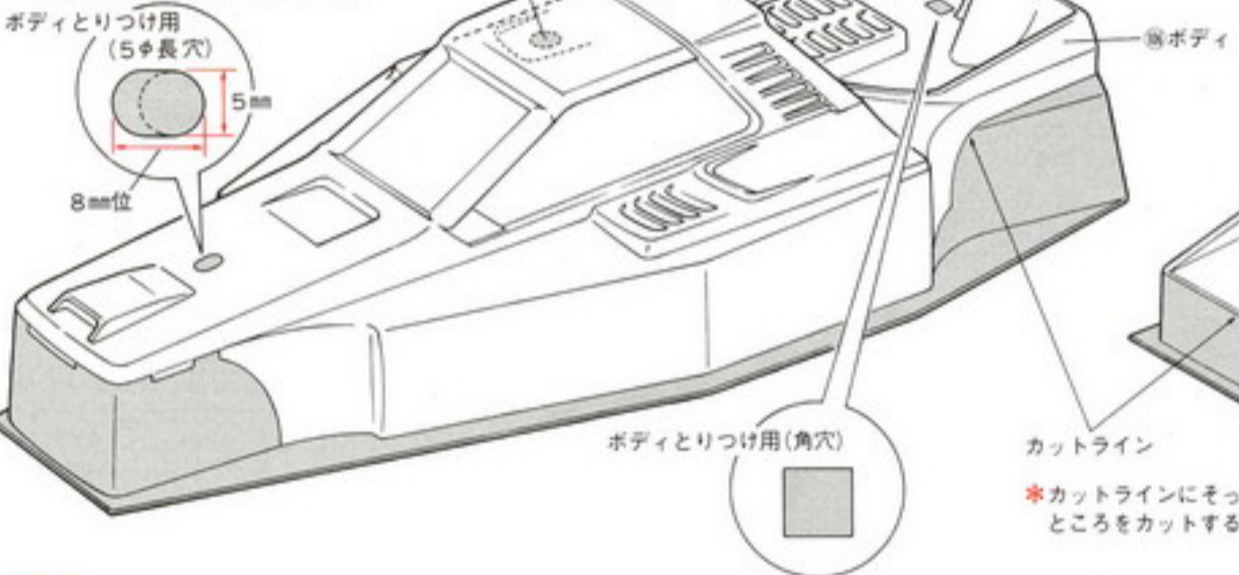


3.



31 ボディとウイングのカット

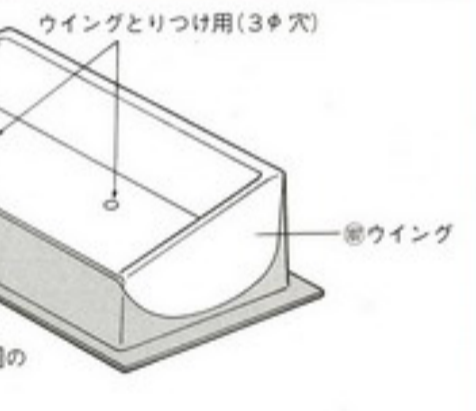
*指示されたところをカッターナイフ、キリ、ハサミなどを使ってカットして下さい。
*前・後のボディとりつけ穴はチェーン調整でリヤギヤボックスを前・後に移動するため、図のようにカットして下さい。



KYOSHO

京商ではポリカーボボディ工作用の専用ハサミ「ラウンドカッター」を発売しております。
No.1828

曲線部は刃先で切る。
直線部は刃の根元で切る。



32 塗装

本車のボディはポリカーボネートと言う透明のプラスチック板をボディ型に成型したもので出来ています。ポリカーボボディを塗装するときは裏側から塗った方がきれいに塗装できます。塗料の付きを良くするために中性洗剤を使い、よく水洗いして手アカや油などをつけないように乾かして下さい。一色塗りの時はボディ内側全体を2~3回塗装すれば良いのですが、2色以上に色分けする時は粘着テープやマイクロラインテープなどを色分けするラインにはり、濃い色から塗り最後にボディ全体に薄い色を塗ります。



KYOSHO

Micron Line Tape

KYOSHO

京商マイクロラインテープはマスキングテープとして、又、デザインテープとしても使えます。色は6色、太さも3種類あります。
No.1841~3

KYOSHO

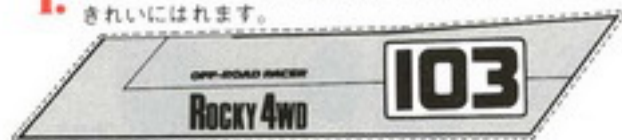
京商ポリカカラーはポリカーボボディ専用のアクリル塗料で大変あつかいやすく、色も12色そろっております。
No.2230

POLYCA

33 デカールのはりつけとウィングのとりつけ

〈デカールのはり方〉

1. デカールはできるだけ余白を残さずギリギリに切るときれいはれます。



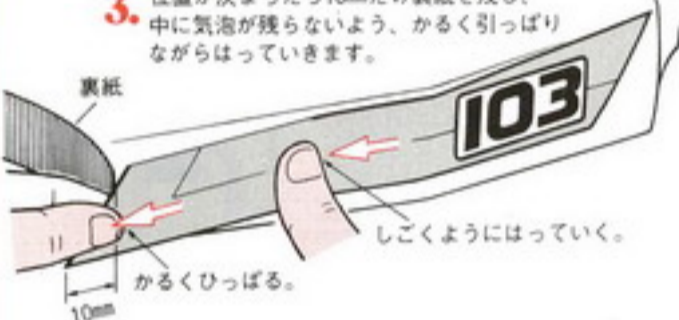
2. 長いデカールや大きなデカールをはる時は裏紙を折り曲げてはり、位置をたしかめます。

裏紙を折り曲げる。10mmだけはる。



おさえて位置をたしかめる。

3. 位置が決まったら10mmだけ裏紙を残し、中に気泡が残らないよう、かるく引っ張りながらはっていきます。



かるくひっぱる。

しごくようにはっていく。

10mm

34 バッテリーのとりつけ

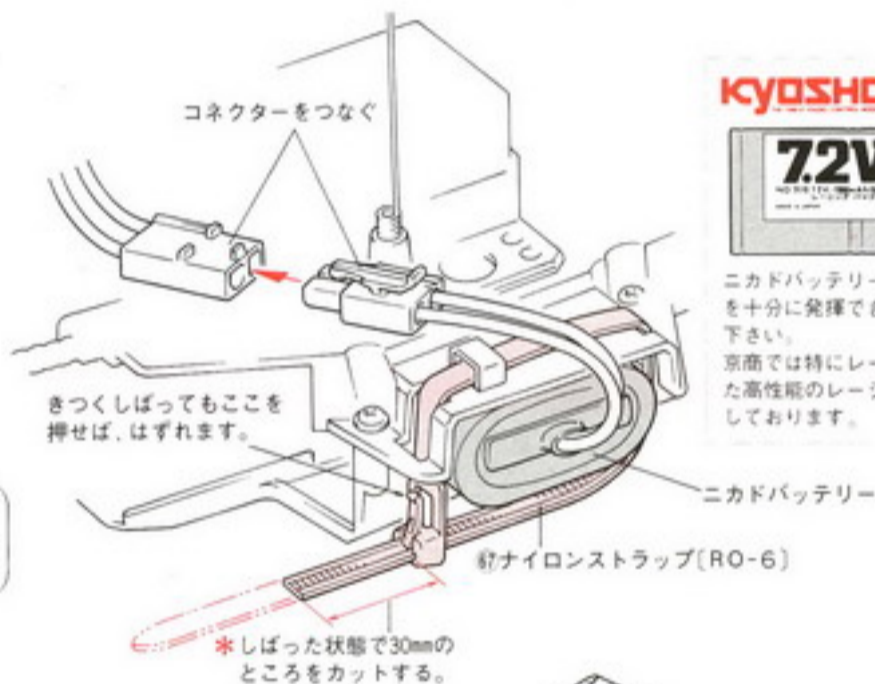
〈ニカドバッテリーの充電〉

バッテリーは十分に充電してから使うこと。



充電器
京商では数種の充電器を用意しております。
2ページの表より使用目的に合ったものをお求め下さい。

ニカドバッテリー(別売)



コネクターをつなぐ

きつくしぼってもここを押せば、はずれます。

ニカドバッテリー

耐ナイロンストラップ(RO-6)

*しぼった状態で30mmのところをカットする。

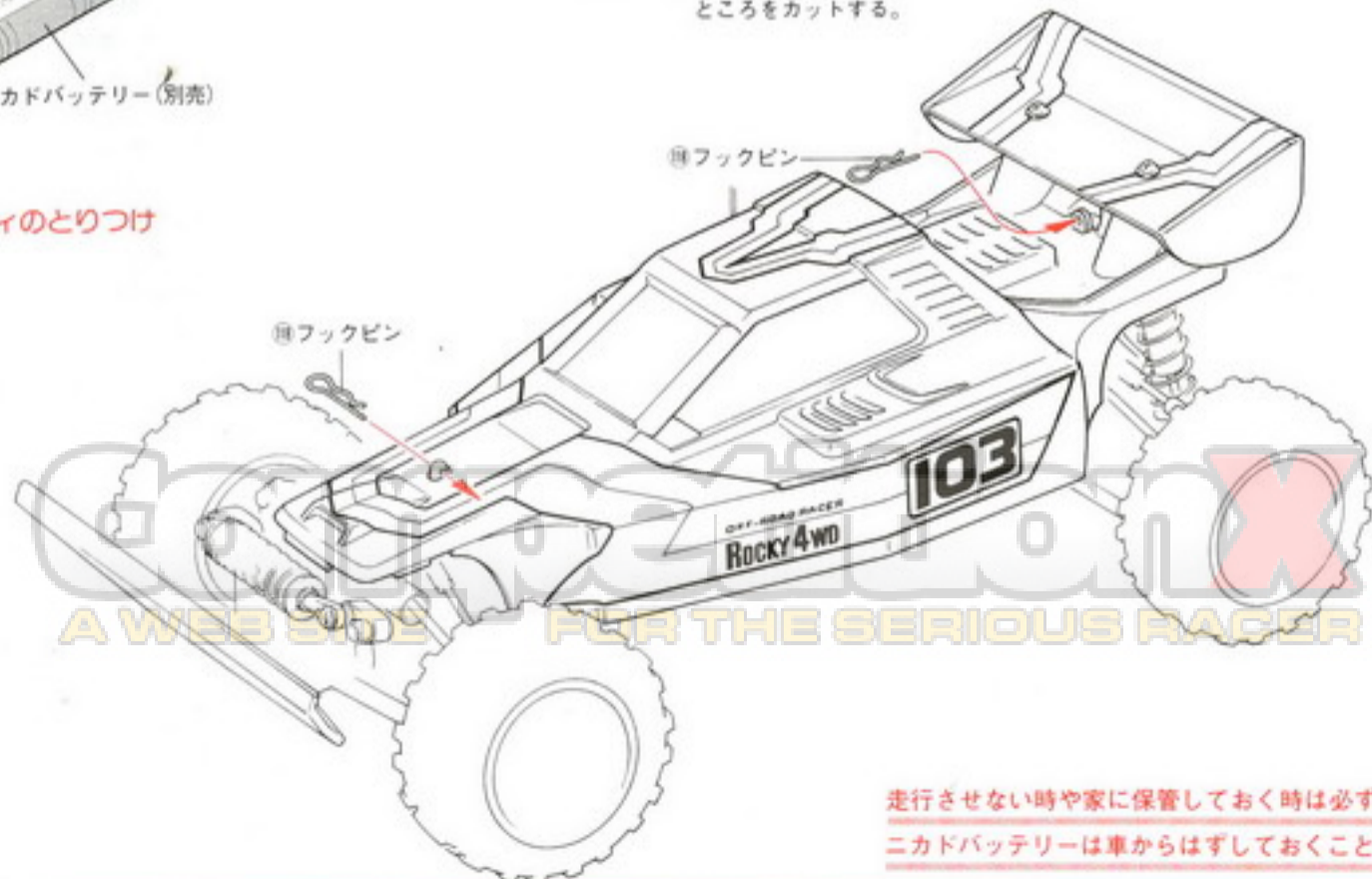
KYOSHO



ニカドバッテリーは電動レーシングカーの性能を十分に発揮できる高性能バッテリーをお選び下さい。
京商では特にレーシングカー用にセレクトされた高性能のレーシングバッテリー7.2Vを用意しております。

No.2218

35 ボディのとりつけ



フックピン

フックピン

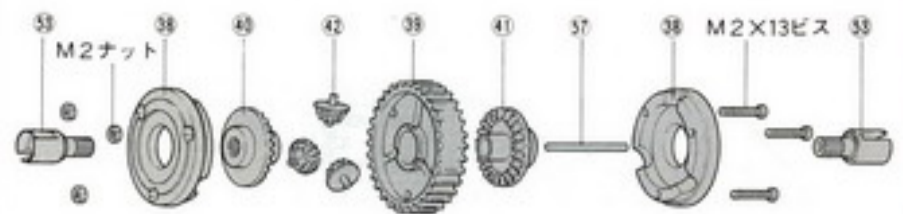
走行させない時や家に保管しておく時は必ずニカドバッテリーは車からはずしておくこと。



ダンパー分解図



デファレンシャルギヤ分解図



BEC(ベック)方式プロポの使い方

BEC方式とは?……動力用7.2V1200mAhニカドバッテリーより受信機、サーボ用電源をとるためのコネクターを取付けてあるもので、BEC方式プロポを使用する場合、車体側のコネクター(メスピンの)をスイッチハーネスのBECコネクター(オスピンの)に差し込むだけで動力用電源と受信機、サーボ用電源共通の配線が終了してしまう方式のことです。

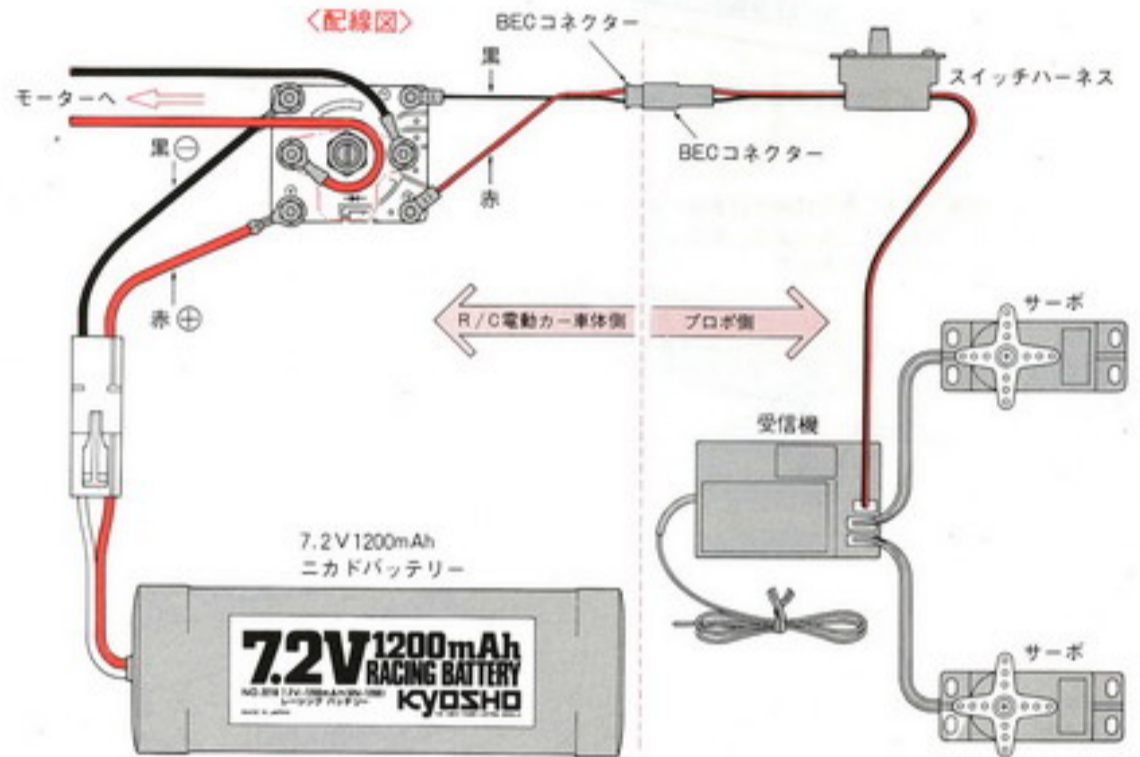
●BEC方式プロポを使用する場合、**26**で使用するラグ端子をキット内のBECコネクターに取りつけて左図のようにコントローラーPC板へ、ビスでとめて下さい。

ラグ端子のとりつけ

1. BECコネクターのビニールを皮ムキする。

2. ラグ端子にさしこむ。

3. ペンチでラグ端子をつぶす。



※この時、プラス⊕(赤線)、マイナス⊖(黒線)をまちがえないよう、十分気をつけて下さい。

パーツリスト

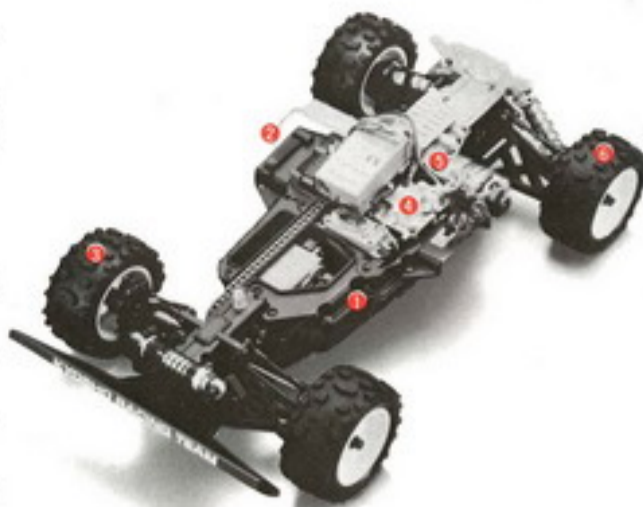
キーNo.	部品名称	数量	キーNo.	部品名称	数量	キーNo.	部品名称	数量	キーNo.	部品名称	数量
1	フロントバンパー	1	31	フレーム	1	61	チェーン	1	91	バルブ(5穴)	2
2	フロントベース	1	32	リヤギヤボックス	1	62	スイングシャフト	4	92	バルブ(6穴)	2
3	フロントギヤボックス	1	33	リヤギヤボックスカバー	1	63	スライダー	1	93	バルブスプリング	3
4	フロントギヤボックスカバー	1	34	サイドカバー	1	64	チェーンガイド	1	94	ゴムパイプ	1
5	アームブラケット	1	35	リヤサスアーム	2	65	サーボマウント(A)	2	95	ホイール(A)	4
6	ボディマウント	1	36	リヤハブ	2	66	サーボマウント(B)	1	96	ホイール(B)	4
7	フロントサスアーム	2	37	リヤダンパステア	1	67	ナイロンストラップ	1	97	インナーホイール	4
8	アームピン(45mm)	4	38	デフケース	4	68	両面テープ	1	98	タイヤ	4
9	アームピン(30mm)	4	39	デフキャリヤ	2	69	コントローラーPC板	1	99	アンテナトップ	1
10	フロントハブ(L)	1	40	ベベルサイドギヤ(A)	2	70	コントローラーホーン	1	100	アンテナ	1
11	フロントハブ(R)	1	41	ベベルサイドギヤ(B)	2	71	コントローラー押え金具	1	101	アンテナボトム	1
12	ナックルアーム(R)	1	42	ベベルピニオンギヤ	6	72	コントローラーナット	1	102	ラグ端子	3
13	ナックルアーム(L)	1	43	アイドルギヤ(C)	1	73	コントローラーコネクター	1	103	サーボセイバー	1組
14	キングピン	4	44	ロックピン	4	74	コントローラーピボット	1	104	メタル(4φ×8φ)	2
15	5.8φピロボール	4	45	フロントシャフト	1	75	銀接点	2	105	メタル(5φ×10φ)	12
16	アッパーロッド(30mm)	4	46	アイドルギヤ(A)	1	76	接点ホルダー	2	106	ボディ	1
17	5.8φボールリンク	13	47	アイドルギヤ(B)	1	77	コネクター	1	107	ウイング	1
18	ダンパステア(L)	1	48	アイドルシャフト	1	78	3速抵抗	1	108	シックネスゲージ	1
19	ダンパステア(R)	1	49	カウンターギヤ	1	79	抵抗カバー	1	109	デカル	1
20	座金	2	50	カウンターシャフト	1	80	スピコンロッド	1	110	ル・マン240STモーター	1
21	ボールベアリング(5φ×10φ)	4	51	スプロケット(18T)	2	81	ダンパーシリンダー	3	111	リード線	1組
22	センターアーム	1	52	スプロケット(19T)	1	82	ピストン	3	112	ダンパーオイル	1
23	センターカラー	1	53	ジョイント	4	83	ピストンガイド	3	113	アンテナピン	1
24	5.8φ-M3ボール	2	54	フロントホイールシャフト	2	84	Oリング	3	114	M3ナット(金色)	2
25	タイロッド	2	55	ドライブワッシャー	4	85	バックアップリング	3	115	1.5mm六角レンチ	1
26	5.8φボール	7	56	リヤホイールシャフト	2	86	ワッシャー	3	116	BECコネクター	1
27	4.5φピロボール	2	57	パイロットシャフト	2	87	スプリング受(B)	3	117	グリス	1
28	4.5φボールリンク	2	58	ピニオンギヤ(14T)	1	88	スプリング受(A)	3	118	フックピン	2
29	ステアリングロッド	1	59	モーターベース	1	89	スプリング(フロント)	1	119	ジョイントスプリング	2
30	デッキプレート	1	60	ベースプレート	1	90	スプリング(リヤ)	2			

＜走行前の点検、チェック＞

走行の前に右の写真の番号順にチェックをして下さい。

★初走行の時、ニカド電池1パック位の時間はゆっくりと走らせ、各部の動きを見て下さい。

- ①各ネジのゆるみがないかをチェック。
- ②プロポ、動力電池の容量をチェック。
- ③フロントタイヤがプロポ通りに動くかをチェック。
- ④前進、バックがプロポ通りに動くかをチェック。
- ⑤各配線コードがしっかりとされているかをチェック。
- ⑥タイヤを手で回しスムーズに回るかをチェック。



＜走行の際の順番＞

- ①プロポ、走行用電池を入れる。
 - ②送信機のスイッチを入れる。
 - ③受信機のスイッチを入れる。
 - ④プロポのスティックを右・左・前進・バック操作しその動きをチェックする。
- ★プロポのスイッチを切る時は、受信機を先に切り、後で送信機のスイッチを切る。
この手順をあやまるとモデルが勝手に走ったり、暴走することがあります。

＜動かない時のチェック＞

- ①走行用電源(ニカドバッテリー)のコネクター及び各配線コードの接触不良。
- ②コントローラーの接触不良。
- ③プロポの故障。
- ④他の電波の混信。

★ロッキー4WDはプロポ用受信機電池を走行用ニカドバッテリーから取っています。車が走行中スピードが落ちてきたら、すぐ車を手元にもどしスイッチを切って下さい。走行用バッテリーがなくなると受信機に電気がいかなくなり車がノーコン(暴走)になります。

オフロードレーサー「ロッキー4WD」セッティングガイド(2)

＜直進性のセッティング＞



- ①ステアリングを操作しないのに左右にフラフラする時は…
 - トーインをチェック、少し増して見る。
 - リンケージのガタをチェック、ガタが多すぎたり、逆に動きがしぶいのも良くない。
- ②直進している時、少し操作しただけで急に方向が変わったり、スピンしそうになる時は…
 - 前後の舵角をチェック、舵角をもっとへらす。
 - リンケージのガタをチェック、特にリンケージの動きがしぶいと舵が残るので注意する。

＜コーナーリングのセッティング＞



- ①コーナーで思ったより曲りすぎたり、スピンしたりする時は…
 - 前後の舵角をチェック、舵角をもっとへらす。
- ②コーナーでふくらんでしまう時は…
 - アクセルコントロールでコーナーをまがる練習をする。
 - アクセルコントロールをマスターしたら少しずつ舵角を増してみる。

＜ダンパーとサスプリングの調整＞

特に凹凸のばげしい路面やすべりやすい路面に合わせてセッティングして下さい。下の表は操縦者の感覚などにより差がありますが目安として参考にして下さい。

①フロントスプリングの強さ

スプリングの強さ	直進性	高速コーナー	低速コーナー
強	○(すべる路面△)	△(弱オーバーステア)	△(弱アンダーステア)
中	○	○	○
弱	○(凹凸ではX)	△(弱アンダーステア)	△(弱オーバーステア)

②リアスプリングの強さ

スプリングの強さ	直進性	高速コーナー	低速コーナー
強	○(すべる路面△)	△(弱オーバーステア)	○(弱オーバーステア)
中	○	○	○
弱	○(凹凸ではX)	△(弱アンダーステア)	△(弱アンダーステア)

③ダンパーオイルの硬さは

スプリングを硬くすればオイルも硬目になります。硬目のオイルは²No.1951ダンパーオイルセットを使用して下さい。

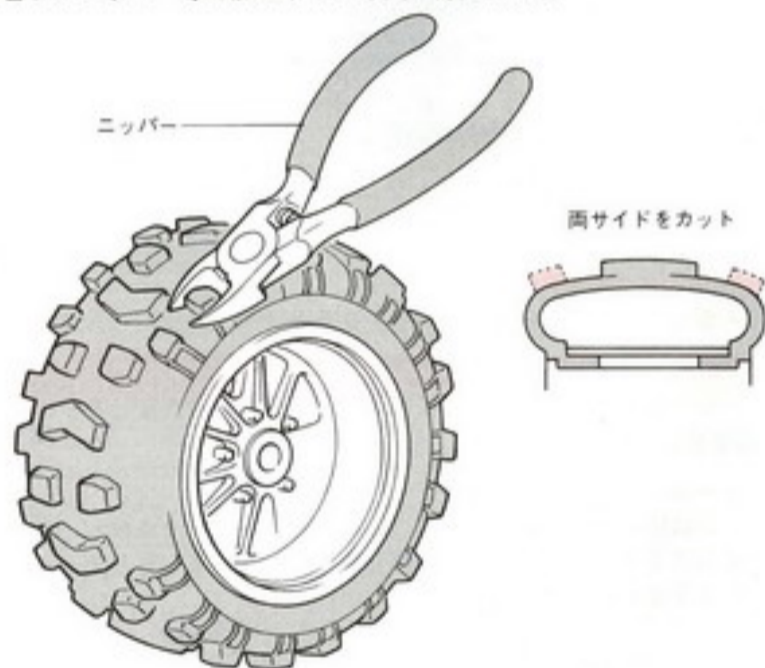
＜タイヤのセッティング＞

ニューバターのRK4タイヤは強力なグリップ力がありますのでスパイクをつける必要はありません。

RK4タイヤはエッジ効果を重視して設計されており、ブロックの角の部分がへってくるとグリップが低下してきます。

かたくすべる路面では両サイドのブロックをカットして接地圧を上げると、よりグリップが上がります。

路面に合わせてニッパー等で加工するのも良い方法です。



＜前・後輪の回転差の変更＞

本車はスプロケットを入れかえることにより、前輪と後輪の回転差を変えることができます。

リヤスプロケット フロントスプロケット

(ノーマル)

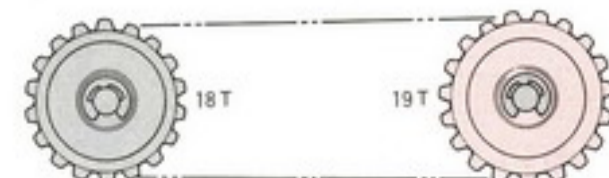
説明書通りに組立てると前、後輪が同じ回転。



(フロント駆動が多い)
フロントの回転の方が多くなりフロント駆動ぎみになる。

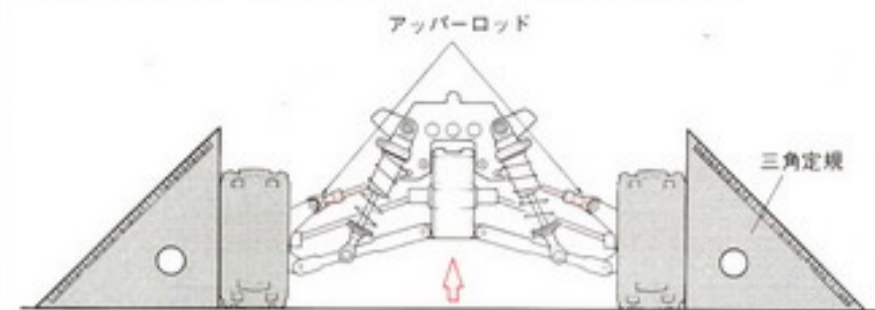


(リヤ駆動が多い)
リヤの回転の方が多くなり、リヤ駆動ぎみになる。

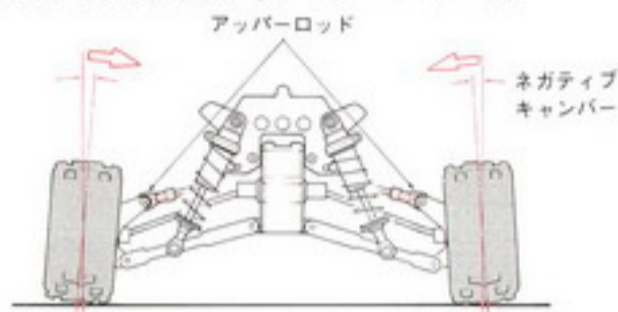


＜サスペンションの調整＞

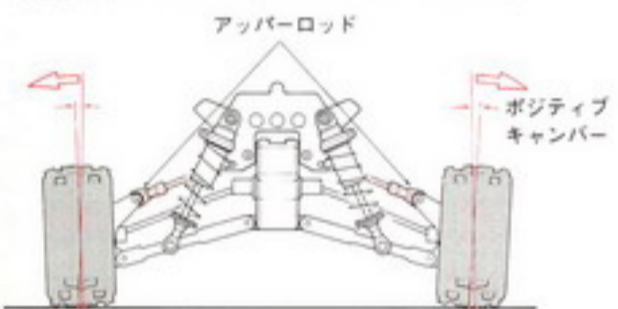
車を平らな所におき、車高を一番上に上げた状態でタイヤが地面と90度になるよう、フロント、リヤのアップロードの長さを調整します。



アップロードを短くするとネガティブキャンバーがつく。



アップロードを長くするとポジティブキャンバーがつく。



取扱の注意

電動RCカーは高性能なニカドバッテリーを使用しており、大変スピードが出ますので車、ニカドバッテリーの取り扱いには充分な注意が必要です。

- 人ごみや、道路では絶対に走らせないで下さい。
- 同じ周波数の車は同時に走行させる事は出来ません。同時走行する時は必ず周波数の確認を行なって下さい。
- 車が急に動かなくなったり、障害物にはさまったりして動けなくなった時は、無理に車を動かさないで下さい。モーターや配線関係が過熱して部品をとくしたり、破損したりします。
- 回転しているタイヤを無理に止めないで下さい。
- ニカドバッテリーをつなぐ時は、コントローラーがニュートラル位置になっている事を確認してからつないで下さい。
- 駆動系の軸受け部分の動きが重いとモーターやバッテリーに大きな負荷がかかり、スピードの低下や過熱の原因となります。駆動系は軽く動くよう必ずチェックしてグリスアップを行なって下さい。
- 受信機電源共用タイプの車はニカドバッテリーの容量が減って来るとコントロールが出来なくなります。走行中、スピードがおちて来たら走行を中止して下さい。

走行後の整備

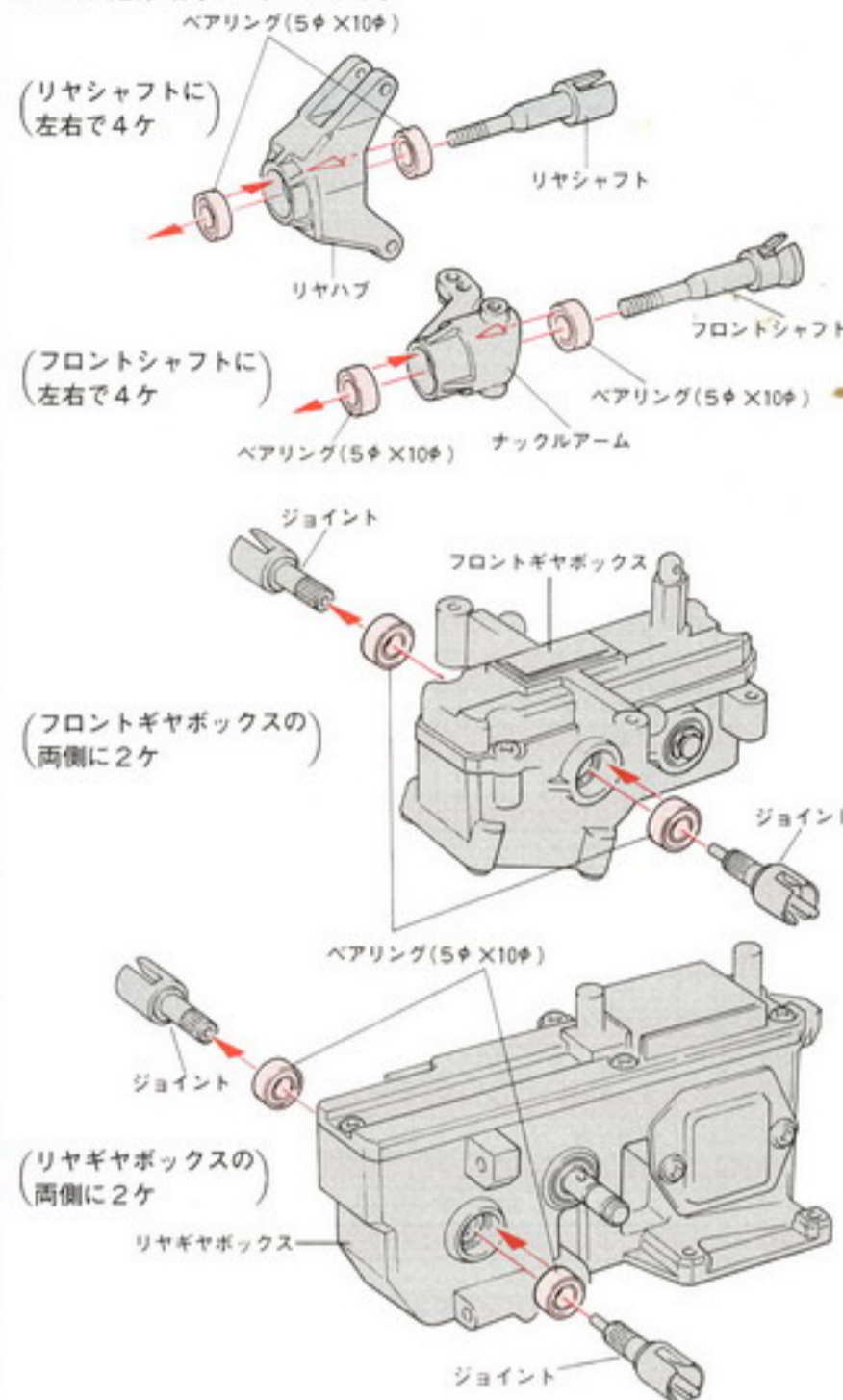
- ラジコンカーの走行後は必ずニカドバッテリーを車体からはずして保管して下さい。
- 走行させた後の汚れなどは必ずきれいにふき取って下さい。
- プロポのスイッチは必ず切って下さい。
- 可動部分には、定期的にグリスを付けて下さい。
- 各部の取付けビスのゆるみを点検して下さい。

A W モーターの取扱

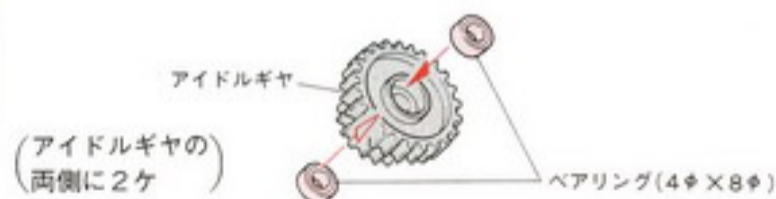
- 走行後はモーターが発熱します。連続での使用はモーターの寿命を短くします。冷えるのを待って走行して下さい。
- 数回の走行を行ないますとモーターのパワーが低下して来ます。これはコミュテーター部にカーボンが付着したためです。ピニオンギヤをはずして7.2Vで15分位空回しを行なって下さい。
- モーターの軸受け部は定期的にオイルを付けて下さい。

＜ベアリング＞

オプションのベアリングを使用することで、よりスムーズな回転になり、スピード、走行時間がアップします。



上図で使用するベアリング(5φ×10φ)は12ヶ使用します。KYSHOでは2ヶを1セットにしたNo.1901ボールベアリング(5φ×10φ)を¥700で販売しています。ロッキーには6セット必要です。



上図で使用するベアリング(4φ×8φ)は2ヶ使用します。KYSHOでは2ヶを1セットにしたNo.1903ボールベアリング(4φ×8φ)を¥700で販売しています。ロッキーには1セット必要です。

＜ギヤ比とオプションモーター＞

ピニオンギヤ	15T	14T	15T	13T	14T	12T	13T	12T
アイドルギヤ	32T	32T	36T	32T	36T	32T	36T	36T
ギヤ比	9.0	9.6	10.1	10.3	10.8	11.2	11.6	12.6
ル・マン240S								
240SB								
360PT								
360GOLD								
480S								
スピード	速くなる ← → 遅くなる							
走行時間	短くなる ← → 長くなる							

部品を紛失、破損された時

下記の品番、部品名、内容を確認し、キットをお買求めいただいた模型店で品番を言ってお求め下さい。近くに模型店がなく部品が入手できないときは別紙についているパーツ注文書とパーツ代に送料を加え(郵便普通為替または現金書留)品番を明記の上、直接「京商サービス部」へお申し込み下さい。※2品以上お求めの場合の送料は品番の中で一番高い送料のみお送り下さい。他の送料はサービスとなります。なおパーツ注文書には郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号を必ず明記して下さい。又、お申し込みになられたパーツはご送金いただいてからお届けできるまで10日以上かかる場合もありますので御了承下さい。

●表示の送料は昭和61年7月1日現在のもので法規改正にともない変更になる場合がありますので御了承下さい。

品番	部品名	内容(キ-No. 及び入数)	定価	送料
RK-1	フロントバンパー	①×1ケ	250	120
RK-2	ホイルセット	② ③ ④各2ケ	400	240
RK-3	デフギヤセット	⑤ ⑥ ⑦各2ケ ⑧×4ケ ⑨×6ケ	1,200	120
RK-4	フロントギヤボックス	⑩×1ケ ⑪×1ケ	350	120
RK-5	ブラパーツセット	⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰各1ケ ⑱×2ケ	650	240
RK-6	サスアームセット	⑲ ⑳各1ケ ㉑ ㉒ ㉓各2ケ	400	120
-7	ナックルアームセット	㉔ ㉕各1ケ ㉖×4ケ	600	120
-8	デッキプレート	㉗×1ケ	600	240
RK-9	フレーム	㉘×1ケ	600	240
RK-10	ハブセット	㉙ ㉚各1ケ ㉛×2ケ	400	120
RK-11	ボールリンクセット	㉜ ㉝各1ケ ㉞ ㉟ ㊱各2ケ ㊲ ㊳ ㊴各4ケ ㊵ ㊶各8ケ	900	120
RK-12	リヤギヤボックスセット	㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼各1ケ	1,200	240
RK-13	ギヤセット	㊽ ㊾ ㊿ ㉀ ㉁ ㉂各1ケ ㉃×2ケ	900	120
RK-14	スライダースセット	㉄ ㉅各1ケ	300	120
RK-15	タイヤセット	㉆×2ケ	1,000	170
RK-16	ダンパーセット	㉇ ㉈各1ケ ㉉ ㊱ ㊲各2ケ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹各3ケ ㊺ ㊻ ㊼各4ケ	2,000	120
RK-17	ボディ(ロッキー)	㉍ ㉎各1ケ	2,000	240
RK-18	メタルセット	㉏×2ケ ㉐×12ケ	900	70
RK-19	チェーン	㉑×1ケ	550	120
RK-20	スイングシャフト	㉒×2ケ	550	70
RK-21	ジョイント	㉓×1ケ ㉔ ㉕各2ケ	300	120
RK-22	フロントホイルシャフト	㉖×2ケ	450	120
RK-23	リヤホイルシャフト	㉗×2ケ	450	120
RK-24	ドライブワッシャー	㉘×4ケ	250	70
RK-25	シャフトセット	㉙ ㉚ ㉛各1ケ ㉜ ㉝ ㉞各4ケ	700	120
RK-26	リヤダンパーステー	㉟×1ケ	300	70
RK-27	ビスセット	1セット	700	120
RK-28	サーボセイバーセット	㊱×1ケ	200	120
RK-29	デカール	㊱×1ケ	250	120
1885	アンテナセット	㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵各1ケ	150	120
PG-40	スピードコントローラーセット	㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼各1ケ ㊽ ㊾ ㊿ ㉀各2ケ	1,250	120
PG-41	コントローラーPC板(ダイオード付)	㉁×1ケ ㉂×2ケ	500	70
PG-42	接点セット	㉃×2ケ ㉄×4ケ	300	70
PG-43	コネクター、リード線セット	㉅ ㉆各1ケ	500	120
PG-52	3速用抵抗	㉇×1ケ	380	120
EF-39	ナイロンストラップ	㉈×1ケ	400	70
SC-46	両面テープ	㉉×1ケ	180	70
EP-22	フックピン	㊱×5ケ	100	70
1901	ボールベアリング(5φ×10φ)	㊱ 2ケ入り	700	70
オ ブ シ ョ ン パ ー ツ				
1903	ボールベアリング(4φ×8φ)	2ケ入	700	70
1951	ダンパーオイルセット(S.M.H)	ソフト、ミディアム、ハードの3本セット	800	240
OT-23	ビニオンギヤ(12T)	ギヤ比 9.8~12.93	250	120
OT-50	。(13T)		250	120
OT-24	。(15T)		250	120
SC-80	4速用抵抗	前進4段変速用抵抗	650	120
W-5002	プレッシャーダンパー(L)	コンスタントボリュームタイプ 2セット	2,800	120
W-5021	大径ホイル	シルバーメッキタイプ 2セット	700	240
W-5031	ロープロタイヤ(ハード用)	硬い路面用 2ケ入り	1,200	240
W-5032	。(ソフト用)	軟かい路面用 2ケ入り	1,200	240
LM-15	クーリングプレート	ル・マンモーター専用冷却プレート	980	120
1972	ロッキー4WD用ベアリングセット	5φ×10φ...12ケ 4φ×8φ...2ケ (ベアリング用メンテナンスオイル付き)	4,400	170
1863	スポンサーステッカー		600	120

A WEB SITE FOR THE SERIOUS RACER